

第66回 北海道公立小中学校事務研究大会

第2分科会【留萌支部】

— 別冊資料 —

A小学校 教材費等の公費・私費取り扱い基準について

2013年7月1日施行

1 はじめに

学校のお金については、公費以外にPTA会費などの団体会計や保護者からの学校諸費(教材費など)に依存している実態にあるため、安易に保護者負担とならないように、学校内の公費私費負担の基準を明確にしておく必要がある。

また、昨今の社会的な経済格差が子どもの教育格差につながらないように、我々教職員はできる限りお金のかからない学校づくりを目指すべきであり、そのためには、保護者負担軽減を進めて行くことが重要である。

2 ねらい

- 1) 全ての子どもが平等に学習できるように保護者負担軽減に取り組む。
- 2) 校内における公費私費負担区分の現状を、教職員全体で話し合い共通理解を図る。

3 道立学校の公費私費負担区分ガイドライン

- 1) 子ども個人の所有物で、学校、家庭のいずれにおいても使用できるもの

【共通】ノート、鉛筆、下敷き、定規、はさみ、筆入れ等、【国語】国語・漢字辞典、書道セット等、【算数】算数セット、コンパス等、【音楽】鍵盤ハーモニカ、リコーダー等、【家庭科】裁縫セット、エプロン等、【図工】水彩絵の具セット等

- 2) 子ども個人の所有物で、学級、学年、特定の集団の全員が個人用の教材教具として使用するもの

副読本、社会科資料集、ワークブック、漢字・計算ドリル、書写ノート等

- 3) 教育活動の結果として、その教材教具そのもの、またはそこから生ずる直接的利益が子ども個人に還元されるものにかかる経費

【校外活動】修学旅行、社会見学等、【視聴覚教育】芸術鑑賞(音楽・演劇等)、【卒業諸費】卒業アルバム、文集等、【実験実習材料】キット教材、裁縫・木工材料、調理実習材料(成果が児童に直接還元されるもの)等、【保健】日本スポーツ振興センター掛金、【その他】記念写真、ファイル等

4) その他

PTA、同窓会、後援会等私的団体の経費、学校給食費(学校給食法)

4 A小学校の公費私費負担区分ガイドライン(別紙)とその使用にあたって(共通理解事項)

- 1) 義務教育費は本来無償であるが、全てを財政的に措置することが厳しいため、学校の教育課程(カリキュラム)のうち、公費で賄えない必要最低限のものは、私費負担とする。ただし、その線引きについては、補助教材選定、校内配分作成、予算要望時に次のことを考慮にいれて、全職員で慎重に話し合わなければならない。

- ① 保護者の経済的な負担について
- ② 子どもの学習の良好な効果と教材に対する保護者の信頼について
- ③ 公費化(例:半紙や調理実習費)もしくは、学校備え付け教材(例:竹定規)への転用について

- 2) 道立学校公費私費負担ガイドラインで私費としている「直接的に利益(成果物)が子どもに還元されるもの(例:調理実習費)」についても、1, 2の観点から公費化を目指していく。

A小学校 教材費等の公費・私費取り扱い基準

～小学校の補助教材や消耗品、備品等を購入するときに、確認してみましょう。

No.1

教科	品 目	購入する場合		備 考
		公費	私費	
共通教材等	氏名ゴム印	○		2013年度より公費化が決定、中学校へ引継ぎする。
	ネームプレート	○		2013年度より行事等に25枚のネームプレート購入、児童用の名札は2012年度より廃止している。
	タブレット機器	○		町からのリース機器で2013年度より全児童・教職員に貸与、持ち帰りは許可要。保管場所は1・2年～コンピュータ室、3年～2階多目的教室、4年～児童会室、5年～配膳室、6年～被服準備室
	個人用ファイル	○		個人別で作文等を綴るもの。町経理の学級費で支出する。
	マジック(プロッキーセット)	○		年度初めに各学級に配布する。資料室に全色備え付け、詰替を推奨する。
	マグシート(カットタイプ)	○		年度初めに各学級に配布する。
	ホワイトボード(グループ学習)	○		2012年度に、マグネット式を追加購入、2階多目的教室に保管する。
	ワーク・ドリル		○	年度初めに十分に検討を行う。安易に保護者の負担を増やさない。
国語	国語辞典(児童用)	○		学級・図書室に備え付け、授業で持出しする。
	漢和辞典(児童用)	○		学級・図書室に備え付け、授業で持出しする。
	ローマ字副読本(ドリル含)		○	3年生・特別支援学級で購入している。
	書き方ペン(フェルト&サインペン)		○	2016年度より公費化が決定(新入学世帯の保護者負担軽減策)@160
	書道用具セット		○	3年時に補助教材で購入@2,330～3,850
	書道半紙・墨汁	○		2013年度7月より公費化が決定(年間4,000枚)3年生以上対象。
	書き初め用紙・手本	○		手本は複写で配布する。
	原稿用紙	○		複写の用紙を使用する。印刷室に保管し、授業等で持ち出す。
算数	電卓	○		2階多目的教室に保管し、授業で持出しする。
	そろばん	○		2階多目的教室に保管し、授業で持出しする。
	竹定規	○		2013年度より学校揃え付け、印刷室に保管し授業で持出しする。
	コンパス		○	忘れ物等の予備を資料室に保管する。
	分度器・三角定規		○	忘れ物等の予備を資料室に保管する。
	算数セット		○	段階的な公費化(時計→おはじき→ブロック)も可能だが、使い終わった学年より払い下げてもらい、学校備え付けを目指す。2学年同時に使用する場合も考え、50セット程揃えたい。@2,700
社会	社会科資料集		○	6年生・特別支援学級の補助教材費 @610
	社会科副読本	○		3年生以上で使用、2013年度町の予算で改訂(社会科サークル)
理科	乾電池	○	△	セット教材でないものは公費で購入する。
	乾電池ホルダー	○	△	セット教材は保護者負担が大きいため、検討してから購入する。
	小動物・魚及びその餌	○	△	生き物の購入は要相談、餌は公費で購入とする。
	むしメガネ	○		学校のものを使用している(3～6年理科)
	方位磁針	○	△	3年の磁石セットにあるものは、私費負担となっている。
	磁石	○	△	
	星座早見盤	○		学校のものを使用している(4年理科)
	豆電球	○	△	セット教材は保護者負担が大きいため、検討してから購入する。
	ソケット・導線	○	△	セット教材は保護者負担が大きいため、検討してから購入する。
	光電池のおもちゃ	○	△	セット教材は保護者負担が大きいため、検討してから購入する。

教科	品目	購入する場合		備考
		公費	私費	
生活科	伝統遊具	○		けん玉、メンコ、逆さコマ、お手玉等1階多目的教室に保管。2014・2015年度子どもアンケートでけん玉やコマを補充、子どもたちに大人気
	球根・野菜・花の苗代	○	△	花壇のチューリップは社会福祉協議会の助成金より(通年)、1,2年生「球根を育てよう」でムスカリ、クロッカス、ヒヤシンス等を購入(2012年度)、PTA環境厚生部からも花の苗代を支出している。
	飼育道具	○		1,2年生生活科、小動物の飼育かご、水槽等
	朝顔セット		○	鉢、支柱(持ち回し)、種、肥料(通年)をそれぞれ購入した方が格安だが、休業中の持運び(生活科観察学習)や鉢の重量・耐久性を考えると、公費化は難しい。鉢は2年生でも使用している。@970
	ミニトマトセット		○	同上 @310
音楽	鍵盤ハーモニカ		○	新入学児童学用品費(1年)で購入@6,060 備え付けの学校もある。
	鍵盤ハーモニカの唄口		○	衛生上の面(感染症等)から私費負担としている。@420
	リコーダー		○	3年時に補助教材で購入している @1,700
家庭科	ミシン糸(つけ糸)	○		
	裁縫セット		○	5年時に補助教材で購入している @3,500
	袋作り材料		○	5年時に補助教材で購入している。
	エプロン作り材料		○	6年時に補助教材で購入している @850
体育	跳び縄(単縄)		○	新入学児童学用品費(1年)で購入している @500
	紅白帽子		○	新入学児童学用品費(1年)で購入している @550
	スキー授業交通費	○		A町はふれあい(町委託)バスが運行している。
	スキーリフト代	○		A町のスキー場は無料となっている。
	スキー運搬費	○		町が民間の業者と委託契約を結んでいる。
図工	版画版	○		年度当初に使用量及び在庫数量を確認し、公費で購入する。
	版画用和紙	○		年度当初に使用量及び在庫数量を確認し、公費で購入する。
	版画用インク	○		年度当初に使用量及び在庫数量を確認し、公費で購入する。
	彫刻刀	△	○	4年生で購入、児童用は私費負担となっている。学校でも備えているが、切れなくなった刃を研ぐ技術が必要で時間もかかる。@2,200
	水彩絵の具セット		○	新入学児童学用品費(1年)で購入としている@2,900~3,550
	クレヨン・クレパスセット		○	
	画板(板・プラスチック)	○		図工室に保管し、授業で持出しする。27年度新しい画板を購入
	油粘土		○	新入学児童学用品費(1年)で購入@750 衛生上備付できない。
	陶芸実習費		○	2016年度より宿泊研修の行き先が変更となり、陶芸を学校で行うこととなった。経費が@1,000円以上となること、中学校の同様の活動と合わせるにより、@500に縮減して行うことになった。
	紙・土粘土		○	1,3,4,6年普通の粘土(油)で代用できるものもあるへら準備室。
	木工用ボンド		○	小サイズのをグループ分備え付けにしようと試みたが、管理上の面で実施が難しい。
たこ糸	○		資料室・図工室等に保管し、工作物に使用する。	
総合的な学習等	民族楽器	○		音楽準備室に保管している。
	デジタルカメラ	○		資料室に保管し、授業で持出しする。
	写真現像料	○		町経理の写真現像料あり。写真用紙(インクジェット)も用意する。
	CD(DVD)-RW	○		資料室に保管し、授業で持出しする。
	郵券(調べ物・礼状等)	○		町経理の役務費より支出する。
	ペットボトル用はさみ	○		段ボールカッターも図工室に保管あり。昨年度10本追加している。
	講師料	○		学社融合事業等で公費となっている。

教科	品目	購入する場合		備考
		公費	私費	
行事等	卒業証書ファイル		○	カーネーションとともにPTAの記念品費として支出している。
	卒業アルバム		○	子ども・先生は私費負担@8,000円、学校保存は無料となっている。
	運動会・学習発表会材料代	○	△	高額なものや町経理で支出できないもの等は私費で負担している。
	運動会・学習発表会洗濯料	○		2014年度より予算要望で公費化が実現。ハッピーなどの借り衣装
調理・材料 （総合・家庭）	調味料（塩・砂糖等）	○		
	その他材料費		○	2013年度7月より公費で支出している。以前は幼児センターとの交流学习（生活科 カレー作り）や特別支援学級の材料費（町の補助金）に限られていた。教育委員会とは確認済。
その他 （追加）	ノート	△	○	児童会・委員会などで使用する場合は公費で購入する。
	連絡帳	○		2014年度より公費化、以前は新入学児童学用品費（1年）で購入
	はさみ・のり・道具袋等		○	新入学用品で斡旋している。名前シートは廃止している。
	クリヤファイル	○		印刷室に保管し、授業で持出しする。持ち帰りのままにしない。
	画用紙	○		印刷室に所蔵し、授業で持出しする。
	色画用紙	○		1階多目的教室に保管し、授業で持出しする。
	ポスターカラー	○		図工室に保管し、行事や図工科で使用する。
	探検バック（ボード）		○	2016年度より学校備え付けとする。購入は教科消耗品（2年計画）
	タブレット用タッチペン	○		破損があった場合に資料室から持出しする。
	タブレットクリーナー	○		在庫がなくなり次第、資料室から持出しする。
	学級写真代		○	1年生@700 2～6年@400 ※中学校は旧コマで購入@150
	盛花	○		入学式と卒業式で用意している。@5,000
	日本スポーツ振興センター掛金	○		2011年度より全額公費化となる。
	セットカー（町の公用車）	○		遠方の子どもが行事等で早く帰れない場合等に使用される。
	知能検査	○		2、5年で実施、町経理で支出している。
	CRT	○		全学年1月に実施、町経理で支出している。
	遠距離児童通学費	○		遠方の子どもにバス券（回数券）を支給している。町の補助金
	補助教材テスト		○	教科別、学年別に集金 ※別紙補助教材一覧表参照
	補助教材ドリル		○	教科別、学年別に集金 ※別紙補助教材一覧表参照
	準要保護児童のPTA会費	○		2015年度より公費化が実現（小中連携の予算要望）@4,000
	クラブ活動費	○	△	原則、町経理のクラブ活動費より支出するが、町外でのみ購入できるものや高額消耗品についてはその都度検討する。
	児童会費	○		町経理の児童会費より支出する。マジックや画用紙など
	学級費	○		町経理の学級費より支出する。@350×児童数
	修学旅行の交通費		○	
	宿泊研修の交通費	○		A町はふれあい（町委託）バスが運行している。
	総合・校外学習の交通費	○		A町はふれあい（町委託）バスが運行している。
	観劇代	○		町の文化招聘事業

北部ブロックにおける教材費等の公費・私費負担(現状)

～自校の教職員と連携して今後の保護者負担軽減の参考にしましょう。

【小学校】

2013/10/2現在

No.1

教科	品目	A小	B小	C小	D小	E小	F小	備考
共通教材等	氏名ゴム印	私費	公費	公費	公費	公費	公費	中学校引継ぎ: B小、F小、D小(H26年度～)
	ネームプレート	公私費	未購入	未購入	未購入	未購入	未購入	A小: H23より中身を自校で作成
	ホワイトボード(グループ学習)	私費	未購入	公費	公費	公費	公費	A小: 学級費(私費)で購入
	個人用ファイル	私費	公費	公費	公費	公費	公費	
	マジック(プロッキーセット)	公私費	公費	公費	公費	公費	公費	A小: 授業用は公費、学級は学級費(私費)
	マグシート(カットタイプ)	公費	公費	公費	公費	公費	公費	
	道具箱(はさみ・のり・ネームペン)	公私費	私費	公費(未購入)	私費	私費	私費	C小: 卒園祝い
	ワーク・ドリル	私費	私費	私費	私費	私費	私費	
	学級写真	私費	私費	なし	私費	公費	公費	E小、F小: 自校印刷
	観劇代	公費	公費	公費	公費	公費	公費	
	工作マット	私費	私費	私費	私費	公費	私費	
	連絡帳・連絡袋	私費	私費	私費	未購入	未購入	私費	
	知能検査	公費	公費	公費	公費	公費	公費	
	学力テスト(CRT等)	私費	公費	公費	公費	公費	公費	
	日本スポーツ振興センター掛金	公費	公費	公費	公費	公費	公費	H23年度のD町の全額公費化により北部全校が公費化
	修学旅行の交通費	私費	私費	公私費	私費	公費	私費	C小: 町より一部補助
	宿泊研修の交通費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	
	準要保護児童のPTA会費	公費	公費	公費	私費	公費	公費	
準要保護児童の児童会費	助成金	公費	公費	公費	公費	公費	A小: 児童会は赤十字等の助成金で運営 D小: 校内配分	
防犯ブザー(笛)	記念品	記念品	記念品	記念品	記念品	記念品	新入学記念品	
国語	国語辞典(児童用)	公費	公費	公費	公費	公費	公費	
	漢和辞典(児童用)	公費	公費	公費	公費	公費	公費	
	ローマ字副読本(ドリル含)	未購入	未購入	未購入	私費	私費	私費	
	硬筆用フェルトペン	私費	私費	未購入	私費	私費	未購入	
	書道用具セット	私費	私費	未購入	私費	私費	私費	
	書道半紙	公私費	公費	公費	公費	公費	公費	A小: 練習用は町研国語部会より寄贈、消書は私費
	書き初め用紙・手本	公私費	公費	公費	公費	公費	公費	A小: 手本は複写で公費も用紙は自由参加のため私費
	原稿用紙	公費	公費	公費	公費	公費	公費	
算数	電卓	公費	公費	未購入	公費	公費	公費	C小: 自宅のものを持参
	そろばん	公費	公費	未購入	公費	公費	公費	C小: 自宅のものを持参
	竹定規	公費	公費	公費	公費	私費	私費	
	コンパス	私費	公費	私費	私費	私費	私費	
	分度器・三角定規	私費	私費	私費	私費	私費	私費	
	算数セット	公費(未購入)	私費	私費	私費	私費	私費	A小: 学校備付け、校内作成もあり
社会	社会科資料集	私費	私費	私費	私費	私費	私費	
	白地図帳	未購入	未購入	未購入	未購入	未購入	未購入	必要なときは複写又は電子ソフトを使用

教科	品目	A小	B小	C小	D小	E小	F小	備考
理科	乾電池	公私費	公私費	公私費	公私費	公私費	公私費	キッド教材が原因
	乾電池ホルダー	公私費	公私費	公私費	公私費	公私費	公私費	キッド教材が原因
	小動物・魚及びその餌	公私費	公私費	公私費	公私費	公私費	公費	餌、動物どちらかが私費が4校
	むしメガネ	公費	私費	公費	公費	公費	公費	キッド教材が原因
	方位磁針	公私費	公私費	公費	公私費	公費	公費	キッド教材が原因
	磁石	公私費	公私費	公費	公私費	公費	公費	キッド教材が原因
	星座早見盤	公費	私費	公費	公費	公費	公費	キッド教材が原因
	豆電球	公私費	公私費	公費	公私費	公費	公費	キッド教材が原因
	ソケット・導線	公私費	公私費	公費	公私費	公費	公費	キッド教材が原因
	光電池本体	公私費	公私費	公費	公私費	公費	公費	キッド教材が原因
	光電池のおもちゃ	公私費	公私費	公費	公私費	公費	公費	キッド教材が原因
	生活科	伝統遊具	公費	公費	公費	公費	未購入	公費
球根		私費	公費	公費	公私費	公費	未購入	D小:PTAからも花苗代など支出している
飼育道具		公費	私費	未購入	公費	公費	公費	
朝顔セット		私費	私費	私費	私費	私費	私費	
ミニトマトセット		私費	私費	私費	私費	未購入	私費	
音楽	鍵盤ハーモニカ	私費	私費	公費	私費	未購入	私費	C小:学校備付け
	鍵盤ハーモニカの唄口	私費	私費	私費	私費	未購入	私費	
	リコーダー	私費	私費	私費	私費	私費	私費	
家庭科	ミシン糸(つけ糸)	公費	公費	公費	公費	公費	公費	
	裁縫セット	私費	私費	私費	私費	私費	私費	
	袋作り材料	私費	私費	私費	私費	私費	私費	
	エプロン作り材料	私費	私費	私費	私費	私費	私費	
体育	跳び縄(単縄)	私費	私費	公私費	私費	私費	私費	C小:学年によって公費私費が分かれる
	紅白帽子	私費	私費	私費	私費	私費	私費	
	スキー授業交通費	なし	公費	公費	公費	公費	公費	A小:徒歩
	スキーリフト代	公費	公費	公私費	公費	公費	公費	C小:町外は私費 E小、F小:町外も公費化(H25年度~)
	スキー運搬費	なし	公費	公費	公費	公費	公費	A小:徒歩運搬
図工	版画版	公費	公費	公費	公費	公費	公費	
	版画用和紙	公費	公費	公費	公費	公費	公費	
	版画用インク	公費	公費	公費	公費	公費	公費	
	彫刻刀	私費	私費	公私費	公私費	私費	私費	公私費両方あり
	水彩絵の具セット	私費	未購入	私費	私費	私費	私費	B小:卒園祝い
	クレヨン・クレパスセット	私費	私費	未購入	私費	公費	私費	
	ポスターカラー	公費	公費	公費	公費	公費	公費	
	油粘土	私費	私費	私費	私費	私費	私費	
	紙粘土	私費	私費	未購入	私費	私費	私費	
	土粘土	私費	私費	未購入	私費	私費	私費	
	粘土へら	公私費	公私費	公私費	公私費	私費	私費	公私費両方あり

教科	品目	A小	B小	C小	D小	E小	F小	備考
総合的な学習等	民族楽器	公費	公費	公費	公費	公費	公費	
	デジタルカメラ	公費	公費	公費	公費	公費	公費	
	写真(印刷)現像料	公費	公費	公費	公費	公費	公費	
	CD-RW	公費	公費	公費	公費	公費	公費	
	郵券(調べ物・礼状等)	公費	公費	公費	公費	公費	公費	
	ペットボトル用はさみ	公費	公費	未購入	公費	公費	公費	
	講師料	公費	公費	公費	公費	公費	公費	
	総合・校外学習の交通費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	
行事等	卒業証書ファイル	未購入	私費	私費	私費	公費	公費	A町委員会の卒業祝
	卒業アルバム	私費	私費	公費	私費	公費	なし	C小・E小:自校製作
	運動会・学習発表会材料代	公私費	公費	公費	公私費	公私費	公費	公私費:町外しか手に入らないものは別途
	運動会・学習発表会洗濯料	公私費	私費	なし	公私費	公私費	公費	B小:PTA支出 公私費3校:要相談
	鉢花	未購入	公費	公費	公費	公費	未購入	
調理材料(家庭科・総合・クラブ等)	調味料(塩・砂糖等)	公費	公費	公費	公費	公費	公費	
	その他材料費	クラブ・調理実習材料代は個人負担又は学級費、児童会費(クラブ)、全校カレーの材料は学習園、不足分は児童会費(公費)	公費	公費	公費	公費	公費	宿泊研修の材料代を除いている C小:学習指導要領にそっているものは、支出可能なので、可能なものを購入している。 D小:H25.7より調理実習とクラブ活動道の材料費を公費化
その他(追加)	遠距離児童通学費	通学バス	通学バス	通学バス	路線バス定期券	通学バス	通学バス	D町:通学バスなし、路線バスの時刻がないときはセットカーがあるが、年6回と限られていて、親の迎えが多い。
	セットカー(人夫賃金)	なし	なし	なし	公費	なし	なし	D町:上記参照
	自転車通学用ヘルメット	自転車通学なし	公費	公費	自転車通学は禁止	公費	自転車通学なし	B小、C小:H25年に町から全校児童へ配布(次年度より新1年生へ配布) E小:行政よりヘルメット貸出

□ 検証の結果と今後の方向性について

I E町(D小学校、I中学校)

就学援助費の新三項目など、まだ改善を要望したいものがありますが、公費私費負担の割合は、職員や教育委員会の協力もあり年々よくなっています。公共機関の利用など様々な理由があると思いますが、〇〇町は北部で唯一「スクールバス」がない自治体です。町は路線バスの定期券を遠距離通学生に支給していますが、小学校では低学年の子どもを中心に放課後、16時まで待機することがあります。(先生方も付き添う)行事等でセットカー(公用車)の利用ができますが、年6回と不十分で、毎年、セットカーの増便を要望しています。町の予算面等課題が山積していると思いますが、子どもたちにとって利便性の高い交通機関を整備していくことの要望は、これからも行っていきたいと思っています。

D小学校は今回のブロック交流を通して、書道半紙や調理実習費の全額公費化(7月)を実現しました。これからも、ブロック交流において作成された資料をもとに、保護者の負担軽減を目指していこうと考えています。D小学校で作成した公費私費負担取扱基準を併用し、先生方と共に遠別の子どもが他の地域の子どもと平等に学習(生活)できるよう、今後も検討を進めていきたいと思っています。

【E町学校事務サークル「学校間連携」での決定事項と今後について】

- 1 小中の公費私費負担ガイドライン制定に向けての取組を進めて行く。
- 2 小学校については、他の町村より新入学用品費が高いことから、可能な限り、教職員と話し合っ、集金額を減額させていく。
- 3 中学校については、調理実習費の減額、書き初め半紙、音楽用レバーファイルの公費化を目指して職員と連携し、保護者負担軽減を目指す。
- 4 就学援助費の補助項目拡大(PTA会費)について、次年度も継続要望する。
- 5 スクールバスの運行もしくはセットカーの増便を、次年度も継続要望する。

II H町(A小学校)

北部ブロックの公費・私費負担の現状については、共通教材等で私費負担が多かったため、自校の教職員とともに公費化について検討を行っていかねばならないと考えています。

ガイドラインについては、今現在、町にも小学校にもない状態ですが、事務部会でガイドラインの提示について話し合いをもつ機会を設けたいと思います。少なくとも自校での保護者負担軽減や異動者との引継ぎ対応に有効なため、その基盤づくりを固めていくよう計画しています。

H町は、自治体の地域活性化の方針により、今年度より通信業者を介しての物品購入ができなくなりました。学校財政は厳しい状況ですが、保護者負担の軽減等は取り組んでいきたいと考えています。

III T町(B小学校、CH小中学校、G中学校)

1) B小学校

公費・私費の一覧表を見て、B小学校では私費でしたが、他校では備え付けにしている教材(理科教材の星座早見盤、ルーペ等)がありました。来年度の教材を検討する際にこれを参考にしていきたいと思っています。

公費・私費取扱基準については、保護者負担軽減に向けた教職員の意志の統一を重視し、D小の実践を参考にしながら、B小学校でも同様なものを作成し、まずは教職員の周知を図っていきたいと思っています。

2) CH小中学校

公費・私費の一覧表を比較すると、道立学校のガイドライン上では私費である教材・消耗品も公費で購入することが出来ていることが確認出来ました。へき地校ということで、行事等でしか使わない消耗品は届くまで時間がかかったり、児童・生徒に家庭で用意してもらった衣装等が遠方まで行かないと全部揃えられないという現状もあるため、出来

る限り配分予算で購入することを心掛けています。どうしても家庭で用意してもらわなければならないTシャツなどは早めに通信に載せるようになっており、保護者からどこで購入できるのかなどの問い合わせにも応じています。

保護者負担軽減については、今年度から運動会で渡す景品を先生にアンケートを取って授業で揃えて使うノートやペン、付箋などの文房具にしました。また、児童・生徒には購入したものを大事に使うように声掛けを行い、予算を有効に活用できるように心掛けています。

取扱基準については、現在事務の方で一括して消耗品を購入しているので、教職員に対して公費で購入できる消耗品の周知を図れるような資料をまず作成したいと思えます。金銭面だけではなく購入するためにかかる労力の保護者負担軽減も考えていきたいと思えます。

3) G中学校

保護者負担軽減については、校内で美術の画用紙を配分予算にしたり、被服・調理実習費の私費負担を減らしたりするなど、保護者負担の取組は行っているが、配分予算が減額して予算的に厳しくなっています。次年度に向けては、補助教材や修学旅行費の減額を職場内で検討しようと考えています。

【T町事務部会「学校間連携」の実績（一部）と今後について】

- 1 スポーツ振興センター掛金の全額公費化（2009年）
- 2 中学校体育柔道着の公費負担（2012年）
～2012年度からの柔道授業に向けて、当初は保護者負担を見込んでいたが、町事務部会による町教委への要望書に公費負担を要望した結果、実現した。
- 3 今後に向けては、就学援助費（校外活動費）の拡充を目指していきたい。
～ブロック交流で、T町における宿泊研修の補助対象が交通費・入場料のみであることが分かった。E町・S村は宿泊費・食費を含め、全額が補助されているため、事務部会で要望をあげていきたい。

IV S村（F小学校、E小学校、K中学校）

村の配分予算が充実しているため、教育予算全般を公費で賄うことができています。今年度は、今まで村内のみであったスキーリフト代の支給が町外にも拡大されました。その他一覧表以外にも、他町で見られる準要保護世帯対象の宿泊研修拝観料・宿泊料も全児童生徒に支給されています。

学校規模や地域性もありますが、保護者負担軽減に対する行政の理解は高いものと推測されます。今後財政が厳しくなる可能性も考え、委員会との良好な関係を保ちつつ、校内で保護者負担軽減の意識を高めて行きたいと思っています。

ガイドライン作成やブロック一覧表は、教職員の意識向上だけでなく、自校の予算要望の検討にも有効だと考えています。

【S村教育研究協議会事務サークルの検討及び今後について】

- 1 教材費等の公費・私費の負担区分
平成25年度については、北部ブロックで各学校の「公費・私費負担表」を作成しました。「ガイドライン」を作成するためには、再度、D小学校の「取り扱い基準」に基づき、S村内の各学校で詳細に作成し、問題点を確認したいと考えます。
- 2 教材費等に係る公費・私費の負担区分ガイドライン
平成26年度については、1に基づき「ガイドライン」を作成し、S村内の各校と「学校間連携」しながら、認識を共有し予算要望に反映させていきたいと考えています。

保護者負担軽減と財政基盤強化の取組 (A小学校 2011年度～2015年度)

	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
保護者負担 負担軽減の とりくみ	<p>○日本スポーツ振興センター掛け金の全額公費化 ～前年度までは、半額保護者負担となっていたが、全額公費化が実現した。2002年度からの予算要望(10年間)が実現した。</p> <p>○印刷機器の使い分けを呼びかけ ～年度当初にモノクロレーザー、印刷機、複写機の3機による使い分けを呼びかけ、職員に理解を求めた。</p> <p>○低コストモノクロレーザーの使用頻度が高まり(50枚以上)、印刷機のマスター&インクの消費が2割減少した。</p> <p>○低コストモノクロレーザーの両面印刷ユニット購入 ～小学校は町振興会で、中学校は教材購入で購入した。用紙の節約とユニットの購入により、前年比で15%の削減ができた。</p> <p>○低コストモノクロレーザーの単価減額 ～町内業者による仕入先変更により、トナーの金額が削減された。 ・モノクロ ～@ 11,000 → @ 9,450 ・カラー ～@ 9,450 → @ 6,720</p> <p>○フロッピーやホワイトボード(インク&イレイザー)といった代替消耗品をより充実行っていたが、さらにリサイクル消耗品を増やしてみた。</p> <p>○モノクロレーザーの保守点検契約を小中連携の予算要望として提出した(次年度に実現)</p> <p>○印刷製本費の配分について予算要望 ～配分予算の組み替え(印刷製本費を減らして消耗品費を増額できないか)委員会に要望(次年度に実現)</p>	<p>○氏名印の公費化と中学校への引継ぎ ～前年度までは新入学用品費から支出していたが、今年度より公費で賄うことになった。帳簿関係のコンピュータ化進んでいるが、A小学校においては健康カード、作品出品等において利用機会がある。</p> <p>○公費・私費の取り扱い基準について(ガイドラインの制定)が職員会議にて可決 ～遠別町振興会、北部ブロック研修会の研究テーマ</p> <p>○書道半紙と調理実習費の公費化 ～前年度までの財政基盤強化により、公費化が可能となった。半紙については、TEIの枚数をもとに算出、7月から書写指導ということで授業には間に合った。北部ブロック研修会で保護者負担軽減を研究テーマに交流していたため、とても参考になった。</p> <p>○竹定規等の学校備付け ～授業以外で使用するのは、できるだけ学校で揃えたいが、今年度はこの竹定規(教育課程2年算数「長さ」)を学級数分揃えた。</p> <p>○モノクロレーザーの保守契約成立 ～モノクロレーザーは印刷機器の中で最もコストが安く、使用頻度が高いため、保守契約が急務であった。保守契約がない場合は、雑内から業者がくるため、出張費を含めて2万円程度かかり、定着ユニットも別購入となる。小中連携の予算要望も効果があった。</p> <p>○運動会等の行事の実施(中止)連絡をTV電話で連絡 ～TV電話は町内無料、運動会では花火代がかからなくなった。</p> <p>○アイパッド導入により、用紙の使用量削減が期待</p>	<p>○新入学用品費の減額 ～新入学児童にかかる教材費が高いことから、前年度より減額を検討した。できる限り全員が購入するものを減額の対象とし、今年度から導入することとなった。連絡帳を公費支出とした。算数セットの払い下げ(使い終わった学年対象)計画は、職員会議により次年度より行うことが確認された。</p> <p>○行事等に使用する洗濯代を公費化 ～前年度の予算要望により実現し公費化となった。配分予算の増額が厳しいことから、例年残が生じている役務費に注目し、役務費から手数料の配分の再編を要望していた。このことにより、ハッピ等の洗濯で保護者負担がなくなった。</p> <p>○セットカーの増便 ～前年度の予算要望により実現し、バス通生が行事等で使用する公用車の年間運行数が増便された。その事により、保護者の送り迎えにかかる負担が軽減された。(年6回無制限)</p> <p>○受付文書の印刷精選 ～学校長宛に届く文書は受付しないわけにはいかないもので、苦慮している。明らかに必要のないものはその都度、管理職と確認して決めていくが、今後は電子情報の処理について学習をもちたい。</p> <p>○事務職員の教育課程 ～事務職員も教育課程を知るべきという考えに影響され、単元の内容や使用する教材について記載した単元カードを一部作成してみた。効果的な予算編成には有効だが、膨大な作業と時間がかかると、とりくみが止まっている。</p> <p>○消費増税(8%)により財政基盤弱体化 ～消費増税分の予算増を要望していたが、実現には至らなかった。</p>	<p>○理科実験用で使用するマンガン乾電池公費化の徹底 ～2013年度に作成した公費・私費の取扱い基準にある理科実験用の乾電池が、昨年度一部で私費購入していたことから、全職員で教育課程をもとに公費化を徹底するよう確認した。今年度は2月にも保護者負担や補助教材、予算に関する説明をすることを職員会議で確認している。</p> <p>○新入学用品費・補助教材の減額 ～前年度の職員で共通理解となった算数セットの払い下げについて、保護者向けにお願する。また、これまで1年補助教材で購入していた探検パックを教科消費品費から支出、2年計画で学校消費品とし、書き方ペンとともに2016年度より公費化とした。</p> <p>○就学援助費新設三項目が公費化 ～これまで小中連携での予算要望は続け、今年度のヒアリングにて、PTA会費の金額や他町村の状況を聞かれ、小学校ではPTA会費の公費化が実現した。</p> <p>○工科担当との連携により、補助教材・材料費の保護者負担軽減を図った。</p> <p>○印刷消耗品費について ～印刷消耗品のうち特にコピー用紙の使用量が多くなってきた。受付文書、配布文書、テスト等の増量の原因だが、職場の努力で不足する場合は予算要望も含めて検討していきたい。</p> <p>○モノクロレーザーの買い換え ～2011年度に小中に購入されたモノクロレーザープリンターだが、2017年度の予算要望として挙げることを小中で話し合った。職員室用のモノクロレーザーは最も使用頻度が多く、保守点検に来校した業者も買い換えを勧めている。</p> <p>○新しい印刷機の保守点検契約を要望</p>	
財政基盤 強化の とりくみ	<p>○新複写機移行に伴い印刷単価が@7円から@3.5円に引き下げ ～予算要望には出していないが、コストが高いというところは相談していた。</p> <p>○職員印刷物の裏紙使用 ～職員会議等の提案物については、裏紙を使用する。</p> <p>○廃封筒の使用、行事文書の町内配達</p> <p>○回覧板、メールの活用 ～あまり重要でないものは印刷しないで、回覧板や校内LANで情報を流すようにした。</p> <p>○FAX用紙の裏紙使用 ～多いときはSDカードをパソコンで印刷、ファクスの受信はSDカードに設定する。</p> <p>○カラーレーザー使用は必要最小限とする。</p> <p>○町内業者の消耗品単価表の作成 ～原則、通言者を中介できないため、消耗品ごとの単価表を作成した。一番安いお店で購入する。</p> <p>○TV電話や電子黒板といった情報機器の積極的な活用</p> <p>○年度途中にコストの安いモノクロレーザー(イフジオ6220)が撤入 ～複写機の単価減額とともにA小学校における財政基盤強化の原動力となる。</p> <p>○運営計画、研究紀要等の自校印刷を始める。</p>	<p>○氏名印の公費化と中学校への引継ぎ ～前年度までは新入学用品費から支出していたが、今年度より公費で賄うことになった。帳簿関係のコンピュータ化進んでいるが、A小学校においては健康カード、作品出品等において利用機会がある。</p> <p>○公費・私費の取り扱い基準について(ガイドラインの制定)が職員会議にて可決 ～遠別町振興会、北部ブロック研修会の研究テーマ</p> <p>○書道半紙と調理実習費の公費化 ～前年度までの財政基盤強化により、公費化が可能となった。半紙については、TEIの枚数をもとに算出、7月から書写指導ということで授業には間に合った。北部ブロック研修会で保護者負担軽減を研究テーマに交流していたため、とても参考になった。</p> <p>○竹定規等の学校備付け ～授業以外で使用するのは、できるだけ学校で揃えたいが、今年度はこの竹定規(教育課程2年算数「長さ」)を学級数分揃えた。</p> <p>○モノクロレーザーの保守契約成立 ～モノクロレーザーは印刷機器の中で最もコストが安く、使用頻度が高いため、保守契約が急務であった。保守契約がない場合は、雑内から業者がくるため、出張費を含めて2万円程度かかり、定着ユニットも別購入となる。小中連携の予算要望も効果があった。</p> <p>○運動会等の行事の実施(中止)連絡をTV電話で連絡 ～TV電話は町内無料、運動会では花火代がかからなくなった。</p> <p>○アイパッド導入により、用紙の使用量削減が期待</p>	<p>○氏名印の公費化と中学校への引継ぎ ～前年度までは新入学用品費から支出していたが、今年度より公費で賄うことになった。帳簿関係のコンピュータ化進んでいるが、A小学校においては健康カード、作品出品等において利用機会がある。</p> <p>○公費・私費の取り扱い基準について(ガイドラインの制定)が職員会議にて可決 ～遠別町振興会、北部ブロック研修会の研究テーマ</p> <p>○書道半紙と調理実習費の公費化 ～前年度までの財政基盤強化により、公費化が可能となった。半紙については、TEIの枚数をもとに算出、7月から書写指導ということで授業には間に合った。北部ブロック研修会で保護者負担軽減を研究テーマに交流していたため、とても参考になった。</p> <p>○竹定規等の学校備付け ～授業以外で使用するのは、できるだけ学校で揃えたいが、今年度はこの竹定規(教育課程2年算数「長さ」)を学級数分揃えた。</p> <p>○モノクロレーザーの保守契約成立 ～モノクロレーザーは印刷機器の中で最もコストが安く、使用頻度が高いため、保守契約が急務であった。保守契約がない場合は、雑内から業者がくるため、出張費を含めて2万円程度かかり、定着ユニットも別購入となる。小中連携の予算要望も効果があった。</p> <p>○運動会等の行事の実施(中止)連絡をTV電話で連絡 ～TV電話は町内無料、運動会では花火代がかからなくなった。</p> <p>○アイパッド導入により、用紙の使用量削減が期待</p>	<p>○新入学用品費の減額 ～新入学児童にかかる教材費が高いことから、前年度より減額を検討した。できる限り全員が購入するものを減額の対象とし、今年度から導入することとなった。連絡帳を公費支出とした。算数セットの払い下げ(使い終わった学年対象)計画は、職員会議により次年度より行うことが確認された。</p> <p>○行事等に使用する洗濯代を公費化 ～前年度の予算要望により実現し公費化となった。配分予算の増額が厳しいことから、例年残が生じている役務費に注目し、役務費から手数料の配分の再編を要望していた。このことにより、ハッピ等の洗濯で保護者負担がなくなった。</p> <p>○セットカーの増便 ～前年度の予算要望により実現し、バス通生が行事等で使用する公用車の年間運行数が増便された。その事により、保護者の送り迎えにかかる負担が軽減された。(年6回無制限)</p> <p>○受付文書の印刷精選 ～学校長宛に届く文書は受付しないわけにはいかないもので、苦慮している。明らかに必要のないものはその都度、管理職と確認して決めていくが、今後は電子情報の処理について学習をもちたい。</p> <p>○事務職員の教育課程 ～事務職員も教育課程を知るべきという考えに影響され、単元の内容や使用する教材について記載した単元カードを一部作成してみた。効果的な予算編成には有効だが、膨大な作業と時間がかかると、とりくみが止まっている。</p> <p>○消費増税(8%)により財政基盤弱体化 ～消費増税分の予算増を要望していたが、実現には至らなかった。</p>	<p>○理科実験用で使用するマンガン乾電池公費化の徹底 ～2013年度に作成した公費・私費の取扱い基準にある理科実験用の乾電池が、昨年度一部で私費購入していたことから、全職員で教育課程をもとに公費化を徹底するよう確認した。今年度は2月にも保護者負担や補助教材、予算に関する説明をすることを職員会議で確認している。</p> <p>○新入学用品費・補助教材の減額 ～前年度の職員で共通理解となった算数セットの払い下げについて、保護者向けにお願する。また、これまで1年補助教材で購入していた探検パックを教科消費品費から支出、2年計画で学校消費品とし、書き方ペンとともに2016年度より公費化とした。</p> <p>○就学援助費新設三項目が公費化 ～これまで小中連携での予算要望は続け、今年度のヒアリングにて、PTA会費の金額や他町村の状況を聞かれ、小学校ではPTA会費の公費化が実現した。</p> <p>○工科担当との連携により、補助教材・材料費の保護者負担軽減を図った。</p> <p>○印刷消耗品費について ～印刷消耗品のうち特にコピー用紙の使用量が多くなってきた。受付文書、配布文書、テスト等の増量の原因だが、職場の努力で不足する場合は予算要望も含めて検討していきたい。</p> <p>○モノクロレーザーの買い換え ～2011年度に小中に購入されたモノクロレーザープリンターだが、2017年度の予算要望として挙げることを小中で話し合った。職員室用のモノクロレーザーは最も使用頻度が多く、保守点検に来校した業者も買い換えを勧めている。</p> <p>○新しい印刷機の保守点検契約を要望</p>

◇就学援助に関する調査及び今後の学校事務職員の 関わりについて【管内における調査・分析】

27年11月6日 留事協研究委員会

就学援助制度は17年4月に小泉政権の三位一体改革により、国庫負担がなくなり、一般財源化されました。これにより、各自治体の裁量で認定基準や給付水準が決められるようになり、留萌管内でも自治体で格差が生じるようになりました。

研究委員会は、「子どもの貧困」を子どもだけの問題でなく、貧困問題の一側面と判断しながらも、子どもが生まれた環境に左右されず平等に学習できるように、管内における各市町村の就学援助制度について調査・分析を行い、学校現場で働く事務職員として何ができるか、また、どう関わっていけばよいのかを考えました。

○調査項目について

- ① 就学援助制度のお知らせ文書が全家庭に配布されていますか（学校・行政）
- ② お知らせ文書に所得基準や給付内容、手続方法等が明記されていますか
- ③ 広報紙やHPに就学援助制度の明記がされていますか
- ④ 就学援助の認定は生活保護×1. ??ですか
- ⑤ 就学援助費新三項目はどうなっていますか
- ⑥ 就学援助受給率はどのくらいですか
- ⑦ 今年度の新入学児童生徒学用品費の支給日はいつですか
- ⑧ 修学旅行費で保護者に一時負担をお願いしているところはありますか
- ⑨ 就学援助に関して学校・市町村「学校間連携」・ブロック単位で行っている取組や実践がありますか

就学援助制度は、多くの自治体が保護者からの申請にもとづいて行っており、小中学生を持つ保護者は居住する自治体に対して就学援助を申請することができます。しかしながら、課題として保護者が就学援助制度の存在と申請方法を知らなければ、利用することができないという問題点があります。そこで、まずは①就学援助制度のお知らせ文書（全世帯向け）が学校や委員会を通じて配布されているかを確認しました。次に、②お知らせ文書に世帯人数に応じた所得金額（例：2人まで所得136万）や給付内容（受けられる援助費の項目・金額）、対象者（例：町民税が非課税または免除された方など）、手続方法について明記されているか調査し、保護者の立場から援助の対象として分かりやすくなっているかを精査しました。さらに、③広報紙やHPについても、その他の周知方法として調査しています。⑦新入学児童生徒学用品費の支給日については、新入学準備金の一括納入ができない家庭が昨今増えていることから、⑧修学旅行費の一時負担とともに全学校ではありませんが、申請の時期を含め調査しました。最後に⑨これまで就学援助に関して学校・市町村（「学校間連携」等）・ブロック単位で行っている取組や実践をとりまとめ、これからの学校事務としてできることを探ってみました。

○調査結果・分析について【資料14～17頁参照】

- ① 就学援助制度のお知らせ文書（全世帯向け）を配布している自治体は、留萌管内で87.5%と、自治体Gを除く全てにおいて配布されています。
- ② 対象者、給付内容、手続方法については、お知らせ文書を配布している全ての自治体で記載がありましたが、所得基準の明記については、管内で25%と低い割合になっています。
- ③ 広報・HPの記載については、25%とこれも低い割合になっています。子育て・少子化対策としての子どもの医療制度が、全ての自治体で明記されているのに対し、就学援助制度のお知らせをしている自治体は少ないというのが現状です。
- ④ 就学援助の認定基準（対：生活保護基準）は管内全ての自治体（1市6町1村）が、生活保護基準額×1.3倍という結果が出ました。これについては、今後も管内で連携して情報収集する必要があると考えます。
- ⑤ 就学援助費新三項目については、全国、全道的にも支給がない市町村が多い中、管内では62.5%（うち一町が現時点で二項目）という調査結果が出ています。子どもの数が多く、財政的に厳しい自治体ほど支給されていない傾向がありますが、今年度も自治体Gが新三項目を新設し、管内としては増加傾向にあります。自治体Gでは「小中連携」で予算要望も行っていました。
- ⑥ 就学援助受給率は自治体ごとに公表することはできませんが、研究委員会所属校で比較すると、割合が一番高い学校で40%、低い学校で11.5%という調査結果が出ています。

A小学校は自治体Gにある学校で、就学援助制度のお知らせ文書が全家庭に配布されていなく、今年度より、就学援助を受けている家庭が全てひとり親世帯となっています。ひとり親世帯以外にも認定基準以下の低所得者がいるのではと推測しますが、制度そのものを知らなかったり、地域から申請を控える家庭も少なくありません。

C中学校は今年度まで財政健全化計画が続いた自治体Bにある学校で、地域的にも就学援助率が高くなっています。
- ⑦ 新入学児童生徒学用品費の支給日については、全ての学校が5月下旬から6月にかけて支給されています。昨今、新入学用品の支払いを待つほしいといった事例が増えているため、一時負担をするにしても保護者にとって過度の負担とならないように新入学用品の精選や公費化、分割払いを校内で検討し、また、継続申請については仮認定制度の適用を要望としてあげるなどの取組が、今後必要になってくると考えます。
- ⑧ 修学旅行費については概算請求しているところがほとんどですが、支給時期や業者により、保護者に一時負担をお願いしている学校もあります。（仮認定制度につ

いては⑧と同様。できれば給食費も・・・)

⑨ 就学援助に関して学校・市町村(「学校間連携」など)・ブロック単位で行っている取組や実践については、調査の結果、下記の通りとなっています。

- 学校諸費の納入状況を見て、担任の先生と連携を取っている。
- 先生方に就学援助制度についての事務だよりを発行したことがある。
- 就学援助に関して中学校と連携を取っている。
- 事務室で保護者から就学援助について相談を受けたことがある。
- 就学援助費の範囲内で教材費を集めるよう職員に呼びかけを行っている。
- 新入学説明会で分かりやすい説明を行っている。
- 委員会の配布文書が難しいため、就学援助に関して統一の保護者向け事務だよりを発行しようと計画したことがある。
- 教育委員会にお願いし、役場窓口でも「就学援助のお知らせ」を離婚手続き(児童扶養手当の申請)などに来られた方へ配布してもらうことになった。
- 新三項目(PTA会費、生徒会費、部活動費)については、小中連携で予算要望にあげていたが、27年度からようやく援助項目となった。前年度、小学校の教育委員ヒアリングで、自校のPTA会費の金額及び近隣自治体の様子を報告した例もある。
- 就学援助制度は自治体の財政事情等もあるので、取組といっても難しい面がある。
- 25年度の生活保護基準額の見直しの際、「学校間連携会議」で基準額を下げないよう要望し、26年度の準要保護認定に係る所得基準限度額を見直し前の額から引き下げないことを確認した。
- 宿泊研修費の補助対象が近隣の自治体で、交通費、入場料だけでなく、宿泊費や食費も含んでいたため、ブロック交流後に事務部会で予算要望を行った。

○ 就学援助に関して学校現場で働く事務職員として何ができるか、また、どう関わっていけばよいか

研究委員会は①～⑨の就学援助制度の調査・分析をした結果、まとめとして下記のようなものが学校事務職員としてできるのではないかと考えました。

- ☆ 自校や近隣自治体の就学援助制度を知っておくこと
- ☆ 保護者や教職員に就学援助制度を周知すること
 - 保護者～事務だよりや分かりやすい文書を添付するなど
 - 教職員～事務だよりや校内研修、未納が続く家庭へ担任との連携など
- ☆ 校区内での小中間や教育委員会、その他関係機関との連携
- ☆ 教育委員会に対して手続方法の簡素化や周知の徹底について求めること
- ☆ 就学援助制度は自治体の事情もあるため、できることが限られているが、調査項目⑨にある実践例をもとに、「公教育に携わる学校事務職員」として、今できることからやっていくこと

○管内自治体における就学援助制度の実態

	就学援助制度の全家庭向けへ配布文書				その他の周知方法		認定基準 (対:生活保 護基準)	新三項目	全児童生徒数	受給者率 (該当者/全児 童生徒数)
	配布の有無	①対象者	②援助内容	③所得基準	④手続方法	広報紙				
自治体A	あり	あり	あり	なし	あり	なし	なし	あり	284	公開秘
自治体B	あり	あり	あり	あり	あり	あり	①~④あり	なし	1437	公開秘
自治体C	あり	あり	あり	なし	あり	あり	①②④あり	二項目あり	201	公開秘
自治体D	あり	あり	あり	あり	あり	なし	なし	なし	216	公開秘
自治体E	あり	あり	あり	なし	あり	なし	①②④あり	なし	492	公開秘
自治体F	あり	あり	あり	なし	あり	なし	なし	あり	70	公開秘
自治体G	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	あり	180	公開秘
自治体H	あり	あり	あり	なし	あり	なし	なし	あり	223	公開秘
管内(%)	87.5%	87.5%	87.5%	25.0%	87.5%	25.0%	37.5%	62.5%	3103	

※その他特記事項

- 就学援助制度の全家庭向けへ配布文書、広報紙、HPは27年度のを調査しました。
- 新入学用品費の支給日は、全ての学校が5月下旬から6月中旬にかけて支給されています。
- 修学旅行費は概算請求しているところがほとんどですが、支給時期により保護者により負担をお願いせざるを得ないところもあります。
- 日本スポーツセンター加入掛金(保護者負担分)は全ての学校で公費化(就学援助対象児童生徒)されています。
- 自治体CはPTA会費、生徒会費の二項目で、三項目全てであれば50%、二項目も含めると62.5%となります。

○A小学校 ...

児童数 公開秘名
(うち特別支援学級 名)

PTA会員数 公開秘戸

<就学援助> 要保護児童数 公開秘名 世帯

準要保護児童数 公開秘名 世帯

受給者率 11.5%

就学援助費	準要保護		特支教育就学奨励費	
	学年	支給額	学年	支給額
学用品・通学用品費	1年	12,970円	全学年	5,070円
学用品・通学用品費	2～6年	15,200円		
新入学児童生徒学用品費	1年	20,470円	1年	半額
体育実技用具費	1, 4年	26,020円	1, 4年	半額
給食費	全学年	実費	全学年	半額
修学旅行費	6年	実費	6年	半額
校外活動費(宿泊するもの)	5年	実費	5年	半額
PTA会費	1世帯	4,000円	/	
医療費	全学年	実費	/	

※ 2010年度より新たに支給品目に加わった新3項目(PTA活動費、生徒会費、クラブ活動費)については、小学校のヒアリング及び小中連携の予算要望により2015年度より公費化される。小学校はPTA会費のみ。

※ 眼鏡作成、卒業アルバム代などの項目はなし。校外活動費は交通費以外も支給される。

○「就学援助制度のお知らせ」文書の配布の有無について
→G町では町や学校を通して配布されていない。

○「就学援助制度のお知らせ」文書の配布時期について(1年生、在校生)
→

○「就学援助制度のお知らせ」文書の所得基準の明記について
→

○準要保護認定と特別支援教育就学奨励費支給の世帯収入基準を確定するための生活保護費に掛け合わせる「倍数」

1.3

※ 今年度の特徴としては、就学援助を受けている家庭が全てひとり親世帯だということである。ひとり親世帯以外にも認定基準以下の低所得者がいるのではないかと思うが、認定には至っていない。「就学援助制度」に関するお知らせがなく、学校側から改善を求めたこともある。就学援助費の項目については、2015年度より三項目が新設した。就学援助費の受給率はここ数年高くなっているが、新入学の学用品の支払いを待ってほしいといった事例も起きている。

〇〇中学校

… 生徒数 公開秘 名

(うち特別支援学級 名)

PTA会員数 公開秘 戸

<就学援助> 要保護生徒数 公開秘 名 世帯

準要保護生徒数 公開秘 名 世帯

受給者率 40 %

就学援助費	準要保護		特支教育就学奨励費	
	学年	支給額	学年	支給額
学用品費等(通学用品費)	1年	24,560円	全学年	実費の半額 上限11,160円
	2・3年	26,790円		
新入学児童生徒学用品費	1年	23,550円	1年	実費の半額 上限11,775円
体育実技用具費	1年	現物支給	1年	実費の半額 上限18,670円
学校給食費	全学年	実費	全学年	実費の半額
修学旅行費	実施学年	実費	実施学年	実費の半額 上限28,185円
校外活動費(宿泊を伴うもの)	実施学年	実費 交通費及び 見学料のみ	実施学年	実費の半額 上限3,005円
校外活動費(宿泊なし)			実施学年	実費の半額 上限1,120円
通学費	夏期6km冬期3km以上 交通機関利用認定者	実費	自宅から学校まで 通学距離が3km以上	実費～ 実費の半額
職場実習に要する交通費			実施学年	実費～ 実費の半額
交流学习に要する交通費			実施学年	実費～ 実費の半額
医療費	全学年	実費		

* 自治体Bは新たに支給品目に加わった新3項目(PTA活動費, 生徒会費, クラブ活動費)については未実施である。

〇「就学援助制度のお知らせ」文書は1月下旬に教育委員会から学校へメール配信。
在校生は2月上旬に学校から全家庭へ配布。来年度の新1年生は小学校で配付。

〇「就学援助制度のお知らせ」文書の所得基準の明記について
→おおよその目安として明記されている。

※ 今年度の特徴としては、ひとり親世帯が多く、夫婦揃っていても認定基準以下の低所得者もいる。
※ 修学旅行代金の事前集金が難しい家庭があり、部活動関係の学校私費会計から一時立て替えて支払うことが常になっている。

○管内自治体における子どもの医療費助成事業(乳幼児等医療費助成事業)
 ~義務教育段階における保護者の医療負担について

	対象者	助成範囲	その他
自治体A	中学校卒業まで	○中学卒業までの通院費(小学校入学前は現金、それ以降は商工会商品券で還元) ○小学生までの入院費 ※いずれも保険適用内とする。	○申請書に課税台帳閲覧にする旨記載あり ○子育て世代の生活応援と町内消費の活性化がねらい ○27年度より範囲が拡大
自治体B	小学校卒業まで	○小学校就学時前の乳幼児→入院、通院、歯科及び調剤等にかかった健康保険分の医療費 ○小学生→入院と指定訪問看護にかかった保険適用分の医療費	○所得制限あり(毎年8月更新) ○一部負担あり ○小学校の医療費の1割は自己負担で残額を助成
自治体C	0歳から18歳まで	○入院、通院、訪問看護、調剤、補装具等にかかった保険適用分の医療費	○申請に所得・課税証明書が必要 ○一部負担あり
自治体D	高等学校卒業まで	○入院、通院にかかった保険適用分の医療費	○認定に所得証明が必要 ○一部負担なし
自治体E	中学校卒業まで	○医療費(通院・入院および歯科診療、病院で処方されたお薬代など)の一部負担金を全額助成	○所得制限なし ○一部負担なし ○道内であれば、窓口負担無(町外病院が町役場に請求)
自治体F	中学校卒業まで	○入院・外来ともに医療費自己負担分(保険適用となる医療費の自己負担)の金額	○所得制限?? ○一部負担??
自治体G	高等学校卒業後まで	○入院、通院、歯科、柔道整復及び調剤等にかかった健康保険適用分の医療費	○認定に所得証明が必要 ○27年度より中学生から高校生まで範囲を拡大 ○一部負担なし
自治体H	中学校卒業まで	○医療費自己負担分(入院・通院・歯科・調剤)の全額	○所得制限あり(HPにも記載) ○一部負担なし

※市町村自治体のHP(H27.4.1以降)を参照

◇A小学校 図工担当教諭と連携した補助教材・材料費の保護者負担公費化（軽減）



年間単元配当表

5年

図工

【オ】 オリエンテーション 【造】 造形遊びをする活動 【絵】 絵に表す活動 【立】 立体に表す活動 【工】 工作に表す活動 【鑑】 鑑賞する活動

1学期


月	時	単元名	備考（ゴシックは学校にある物）
4	1	【オ】 見つめて広げて 【オ】 形や色を楽しもう①	教科書 教科書裏表紙
	2	【絵】 心のもよう②	画用紙・絵の具・クレヨン・はさみ・のり
	3		
5	4	【鑑】 カードを使って② ◎感じを見つけよう ◎作品のストーリーを考えよう	※前時の作品や雑誌などを切り抜いて作ったコラージュ作品、絵はがき・自分で撮った写真など
	5		
	6	【工】 コマコマアニメーション③	※ iPad の活用も可 ソートロープよりバラバラアニメの方が動かしやすい
7	◎おどれ！わりピンキャラクター		
6	8	◎めくれ！変身パラパラアニメ	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>※昨年度まで「アニメーションをつくろう」というキット（補助）教材を購入していましたが、タブレット機器でも十分対応できるといふことで、今年度は、購入していません。 保護者の負担軽減にもつながります。 庶務部 ○○より</p>  </div>
	9	【造】 あんなところでこんなところで②	
	10		
7	11	【工】 使って楽しい焼き物⑥	※宿泊研修で実施も可（例年実施） 陶芸粘土・木の粘土板・粘土彫塑べら・切り糸・雑巾 ※宿泊研修で行わないのなら、遠別町の陶芸サークルと連携をとる（陶友会）
	12	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>※今年度から宿泊研修の行き先が変更され、陶芸を学校で行うことになりました。（○○町の学社融合事業で行います。） 経費については、公費・私費取り扱い基準をご覧ください。教務の先生のおかげで保護者負担が半額となりました。</p>  </div>	
	13		
	14		
	15		
16			

<補助教材>


- ◆2学期10-27～30 刷り重ねて表そう ～一版多色セットB（中判）@310×20=6,200円
- ◆2学期11-31～39 立ち上がり！マライン～カー針金（C型）@260×20=5,200円 ヒシエ123頁
- ◆2学期12-37～40 糸のこヌイイ ～ウッドパズル @340×20=6,800円 ヒシエ118頁
- ◆3学期 1-41～42 光のルモニ ～ファンタジランプ @330×20=6,600円 ランプ、~~カー~~ファンタジセット
イグ ライト(LED)@200×20=4,000円 ホン電池LR-44 3ヶ付
- ◆3学期 2-43～46 ミラクルステージ ～ミラクルミラステージ @280×20=5,600円 紙粘土、色紙、針金付

【オ】 オリエンテーション 【造】 造形遊びをする活動 【絵】 絵に表す活動 【立】 立体に表す活動 【工】 工作に表す活動 【鑑】 鑑賞する活動

2学期

月	時	単元名	備考 (ゴシックは学校にある物)		
8	17	【絵】 じっと見つめてみると④	※町民芸術祭出品 画用紙・絵の具・(写生にいくなら)画板・画鋏		
	18				
9	19	【工】 伝え合いたい思いや気持ち⑥ ◎好きな場所を伝えたい ◎大事なことを伝えたい	※絵画領域との関連も可なので牛の絵との振り替え可 ○好きな場所を伝えたい 板・ダンボール・ヒートン・絵の具・ダンボールカッター・のこぎり・錐・電動糸のこ・木工用ボンド・金槌・釘 ○大事なことを伝えたい 画用紙・絵の具・ペン		
	20				
	21				
	22				
	23				
10	24	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>電動糸のこの在庫確認をお願いします。 直前では間に合いません。 1学期中に一括で買ってしまおうと思います。</p>  </div>	※管内版画展(隔年)へ出品 ○1版多色 色画用紙・彫刻刀・絵の具・木工用ボンド・カーボン・バレン ○彫り進み 刷り紙・彫刻刀・絵の具または版画用カラー水性インク・ゴムローラー・バレン		
	25				
	26				
	27			【絵】 刷り重ねて表そう④	※管内版画展(隔年)へ出品 ○1版多色 色画用紙・彫刻刀・絵の具・木工用ボンド・カーボン・バレン ○彫り進み 刷り紙・彫刻刀・絵の具または版画用カラー水性インク・ゴムローラー・バレン
	28				
29					
11	30	【立】 立ち上がれ!マイ・ライン④	アルミ針金・ペンチ・ラジオペンチ		
	31				
	32				
	33				
	34				
11	35	【絵】 消してかく②	画用紙または木炭紙・コンテまたは鉛筆または木炭・消しゴムまたは練りゴムまたは食パン		
	36				
12	37	【立】 糸のこスイスイ④	板・電動糸のこ・絵の具		
	38				
	39				
	40				

※1, 3, 5年は教科書改訂にともなって、単元の見直しをかけたため、造形活動が増えています。それに伴い、スズランテープや布テープ、色紙の消費量が多くなりました。予算や環境教育も含めて、使い終わったスズランテープの再利用などにご協力ください。
庶務部〇〇より



教科単元別カードによる教育環境整備(消耗品・備品)について

～今年度の保護者負担軽減策として、以下の単元でマンガン電池を公費で購入します A町立A小学校

No.1

教科	学年	教科書	頁数	児童数	その他配慮すべき事項	
理科	6		140～145	21		
大単元名	○電流による発熱					
小単元名	なし					
学習内容	①身のまわりにある電流の発熱が日常生活にどのように生かされているかを知る。 ②太さの違う電熱線に電流を流し、電熱線の太さによる発熱の違いを知る。					
用意するもの						
消耗品	発熱実験セット(ニクロム線他)	私費	補助教材		21	@120
	単Iマンガン電池	公費	資料室	82	21	
	ピーカー、温度計	公費	理科室	多数	5	グループ数
	ワニロクリップ	公費	理科室	多数	10	グループ×
備品	電源装置	公費	理科室	10	5	
	電流計	公費	理科室	11	5	

No.2

教科	学年	教科書	頁数	児童数	その他配慮すべき事項	
理科	5		132～147	22		
大単元名	8 電流が生み出す力					
小単元名	1 電磁石の性質～ 2 電磁石の強さ					
学習内容	電磁石の性質やはたらきを意図的に追求し、見いだした特性を生活に生かそうとする。					
用意するもの						
消耗品	電源のはたらきPen Guin	私費	補助教材		22	@500
	単Iマンガン電池	公費	理科室	82	22	
備品	電流計	公費	理科室	20	6	グループ数
	方位磁針	公費	理科室	12	6	グループ数

No.3

教科	学年	教科書	頁数	児童数	その他配慮すべき事項	
理科	4		42～59	15		
大単元名	4 電流のはたらき					
小単元名	1 かん電池とモーター～ 4 かん電池や光電池を使ったものづくり					
学習内容	①乾電池や光電池にモーターや豆電球をつなぎ、モーターの回り方や豆電球の明るさを電流の強さと関係づけながら調べる。 ②見いだした問題を興味・関心をもって追求したり、ものづくりによって、電気のはたらきについての見方や考え方を養う。					
用意するもの						
消耗品	電気のはたらき<A型>	私費	補助教材		15	@500
	セット光電池	私費	補助教材		15	@950
	単IIIマンガン電池	公費	理科室	30	30	
備品	検流計	公費	理科室	6	3	グループ数

※ 上記の単元で使用する消耗品・備品等の数量は今年度の先生が使用するものを載せています。



A小学校(〇〇しょうがっこう)

子どもじむだより 第4号

2013年10月28日

〇〇小学校 〇〇〇〇

今年も子どもアンケートを行います。



〇〇小学校のみんなが楽しく安心して過ごすために、今年も「子どもアンケート」を行います。みなさんの学校を「こんなふうにしてほしいな」、「こんなものがあたらいいな」、「〇〇を大切にを使ってほしい」などありましたら、配布した用紙に記入し、担任の先生に渡してください。

みなさんの意見によって改善された
(良くなった)ものを一部紹介します

1. ドッジボールの使い方 ~ 体育委員会が大事に使うよう呼びかけ(ポスター、昼の放送など)
2. 黒板消しが届きません ~ 低学年教室に長い黒板消しを用意しました。
3. いすがガタガタするよ ~ 教育委員会にお問い合わせして新しいいすが入りました。
4. 遊具が壊れているよ ~ 教育委員会にお問い合わせして、修理してもらいました。
5. 料理クラブを復活してほしい ~ 今年復活しました。材料も学校で用意します。



※ 〇〇小学校では2009年度より「子どもアンケート」を行っています。

お下がりありませんか？

A 小学校では、学校での活動に関わる保護者負担の軽減を考えております。今年度は、これまでは個人で購入していただいていた探検バックを学校で購入して、活動ごとに各学年で使用できるように準備しました。

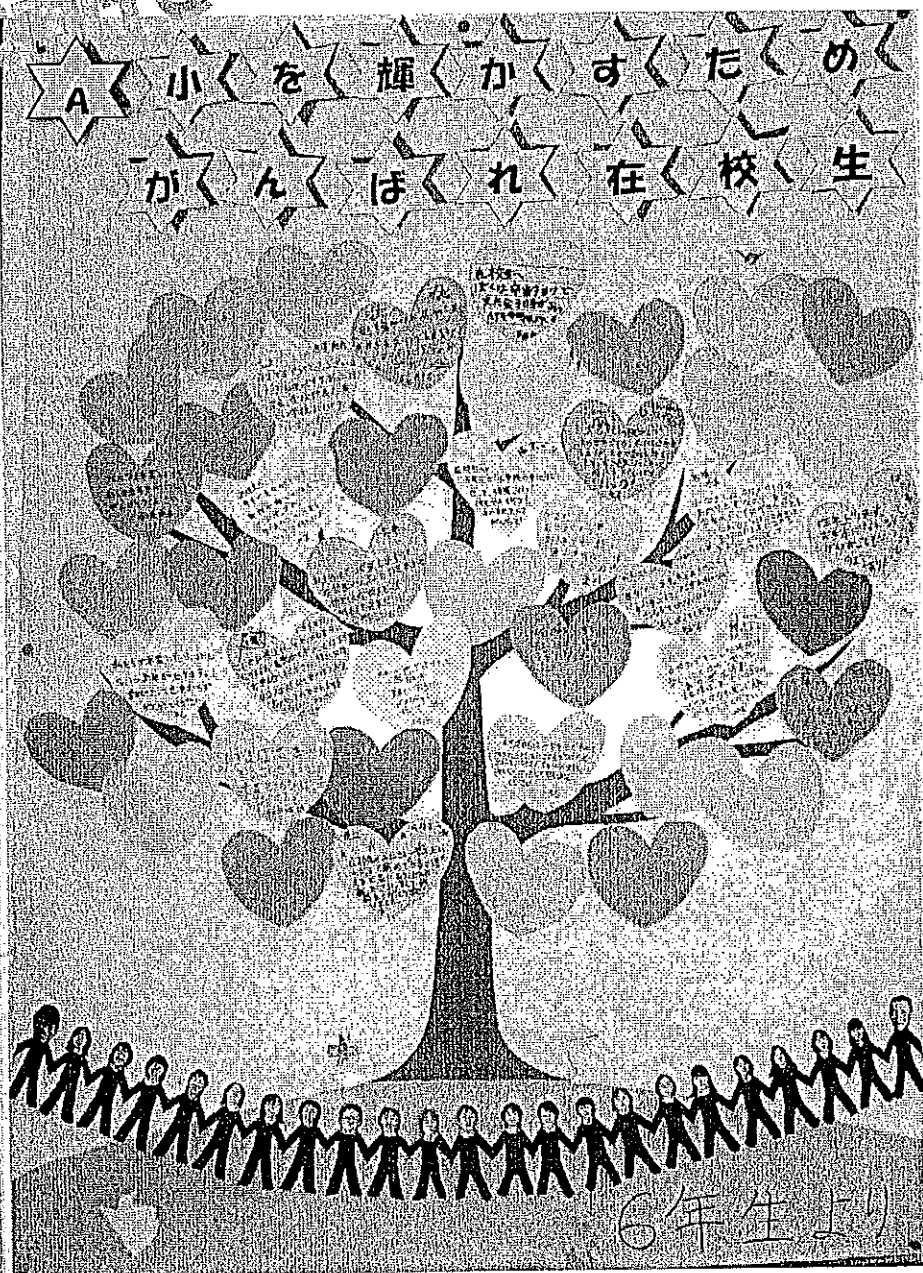
1年生で購入していただくものが大変多くなりますので、その負担を少しでも少なくするため、数年間かけて算数セットを準備したいと考えました。

卒業される6年生のご家庭で、不用になる算数セットがありましたら、学校に寄贈いただいて学校で準備できる態勢を整えていきたいと考えております。

ご協力いただける場合は、いつでも結構ですので、学校にお持ちください。よろしくお願いいたします。

卒業に向け、子どもたちと作った寄せ書きです。在校生へのメッセージをこめたハートの木をアルバム実行委員を中心に作成しました。参観日の際にも玄関に掲示してありましたが、そこに顔写真をプラスしました。卒業式の際にも掲示してありますので、ほかの学年からのメッセージとあわせてご覧ください。

今日は「6年生を送る会」実行委員を中心に準備してきたものを出し、楽しく参加できるといいなと思います。小学校生活に良い思い出がまた一つ増えることでしょう。



◇ B 中学校 補助教材費が高額なことから、職員と話し合いをもち公費化

B 中学校

補助教材費 3年生

教科	教材名	25年度単価	26年度単価	増減	備考
	PTA安全互助会費	400	400	0	
	生徒会費	1,800	1,800	0	
	学力テスト	1,350	1,600	250	増税
	学級写真代	105	108	3	増税
	スキーマ習費	600	600	0	
国語	ワークブック	590	590	-590	削除
	巻画仙紙	252	252	-252	公費化
社会	公民資料	660	660	-660	削除
	公民ワークブック	480	480	-480	削除
数学	ワークブック	490	510	20	増税
	ワークブック	610	430	-180	変更
理科	フラットファイル	156	156	156	
	高麗石	399	334	-65	変更
	窓飾用プラスチック	760	420	-340	変更
美術	陶芸習費	500	500	0	
	消耗品費	300	300	-300	削除
	フラットファイル	420	78	78	
保健	保健資料ノート	450	430	10	増税
	一石実験セット	2,800	500	500	増税
技術	ソーラーキャパシタライ	150	2,847	47	増税
	消耗品費	600	620	20	増税
	リバーシブルランチャック	300	300	0	
家庭	調理実習費	580	580	0	
	消耗品費	150	150	-150	公費化
英語	ワークブック	330	330	0	
	フラットファイル	380	390	10	増税
	生活と進路	15,456	12,759	-2,697	
	生活記録				
	合計				

補助教材費 2年生

教科	教材名	25年度単価	26年度単価	増減	備考
	PTA安全互助会費	400	400	0	
	生徒会費	1,800	1,800	0	
	学力テスト	1,080	960	-120	1回減 増税
	学級写真代	105	108	3	増税
	スキーマ習費	600	600	0	
国語	ワークブック	590	590	-590	削除
	巻画仙紙	252	252	-252	公費化
社会	地理ワークブック	320	320	-320	削除
	歴史ワークブック	350	350	-350	削除
数学	ワークブック	490	510	20	増税
	ワークブック	610	430	-180	変更
理科	フラットファイル	156	156	156	
	寄せ木工芸 箱入り	693	693	-693	削除
	水墨画用和紙	100	100	-100	削除
美術	ボンゴラピアノ	988	988	-988	削除
	陶芸習費	500	500	0	
	消耗品費	300	300	-300	公費化
	粉末石膏	546	583	37	変更
	ソーローブ	236	236	236	
	フラットファイル	78	78	78	
保健	保健資料ノート	420	430	10	増税
	図解 中学体育	780	780	-780	前年度購入
	キーホルダー	350	350	-350	削除
技術	電気はつながってキット	1,296	1,296	36	増税
	栽培実習費	600	600	0	
	消耗品費	150	150	-150	削除
	透明テーパーバルブ	830	864	34	増税
	おしゃべりエプロン	1,320	1,370	50	増税
家庭	エプロンテーパーセット	150	150	150	
	調理実習費	300	300	0	
	消耗品費	150	150	-150	公費化
英語	ワークブック	580	580	0	
	フラットファイル	156	156	156	
	生活と進路	330	330	-330	削除
	生活記録	380	390	10	増税
	合計	17,174	12,497	-4,677	

補助教材費 1年生

教科	教材名	25年度単価	26年度単価	増減	備考
	生徒手帳	480	504	24	増税
	PTA安全互助会費	400	400	0	
	生徒会費	1,800	1,800	0	
	学力テスト	1,080	960	-120	1回減 増税
	学級写真代	700	700	0	
	名刺・氏名印	840	648	-192	氏名印削除 増税
国語	ワークブック	600	600	0	
	巻画仙紙	590	590	-590	削除
	歴史資料集	800	800	-800	公費化
社会	地理ワークブック	320	320	-320	削除
	歴史ワークブック	290	290	-290	削除
	フラットファイル	156	156	156	
数学	ワークブック	490	510	20	増税
	資料集	680	700	20	増税
理科	ワークブック	610	430	-180	変更
	フラットファイル	156	156	156	
音楽	レバーファイル	294	311	17	増税
	画用紙	431	432	1	サイズ変更
	片面マット	200	200	-200	削除
	ボスターカラー	2,510	2,451	-59	変更
	ペーパーナイフ用木材	290	206	-84	変更
美術	陶芸実習費	500	500	0	
	消耗品費	300	300	-300	公費化
	筆洗	231	231	-231	公費化
	デザインバンク	525	54	-525	削除
	ドライポイント樹脂板	78	78	78	
保健	資料ノート	420	430	10	増税
	図解 中学体育	780	790	10	増税
技術	木材キット	1,600	1,473	-127	変更
	導入材	350	197	-153	セットものに変更
	レバーファイル	294	294	-294	削除
	消耗品費	150	150	-150	公費化
家庭	基礎縫いワレックスキット	200	200	0	
	基礎縫いキット	580	600	20	増税
	調理実習費	500	400	-100	減額
	消耗品費	150	150	-150	公費化
英語	JOYFUL PENMANSHIP	320	330	10	
	ワークブック	580	580	0	
	単語帳	680	680	-680	削除
	フラットファイル	156	156	156	
	生活と進路	330	330	-330	削除
	生活記録	380	390	10	増税
	合計	23,177	17,142	-6,035	

◇C中学校 職員室から見えてくる学校事務～就学援助率が高い学校の補助教材費減額

平成27年度 教科用補助教材等一覧表

教科	教材名	1A	2A	3A	備考
国語	基礎の学習	620	620	620	
	つまづかない！文法の学習	480	—	—	
社会	資料カラー歴史	700	—	—	
	社会の自主学習 地理・世界(B)	470	—	—	
	社会の自主学習 歴史1(B)	410	—	—	
	デジタル地理・日本	800	—	—	
	社会の自主学習 歴史2・3(B)	—	530	—	
	社会の自主学習 地理日本(B)	—	470	—	
数学	社会の自主学習 公民(B)	—	—	610	
	中学数学基本問題集	504	504	504	
理科	よくわかる理科の学習(ノートつき)	610	610	610	
英語	JOYFUL WORK BOOK(リスニングつき)	660	660	660	
美術	美術実習費	1,268	859	1,469	制作材料費
保健	図解 中学体育	790	—	—	
体育	新保健体育ワーク	440	440	440	
技術	技術・家庭総合ノート 技術分野	620	—	—	
	技術・家庭総合ノート 家庭分野	620	—	—	
家庭	技術実習費	—	2,250	3,900	制作材料費
	家庭実習費	2,000	1,800	1,500	制作材料費・調理実習費
その他	毎日の生活記録	—	—	—	学校配分予算にて負担
	学力テスト	960	960	1,920	
	卒業記念写真	—	—	800	
	入学願書用写真	—	—	500	
	生徒会誌「潮望」製作費	—	—	—	学校配分予算にて負担
	生徒手帳代	850	30	30	2・3年は身分証明書のみ
	合 計	12,802	9,733	13,563	

平成26年度 教科用補助教材等一覧表

教科	教材名	1A	2A	3A	備考
国語	基礎の学習	620	620	620	
	つまづかない！文法の学習	480	—	—	
社会	社会の自主学習 地理・世界	540	—	—	
	社会の自主学習 歴史1	460	—	—	
	中学白地図 世界・日本	560	560	—	
	2年の補強学習	—	550	—	
	社会の自主学習 公民	—	—	680	
	使いこなす数学	490	490	490	
理科	理科の自主学習	630	630	630	
英語	JOYFUL WORK BOOK	660	660	660	
美術	美術実習費	1,981	1,065	1,553	制作材料費
保健	保健体育ノート	440	440	440	
体育	ワンダフルスポーツ	800	—	—	
技術	技術・家庭総合ノート 技術分野	620	—	—	
	技術・家庭総合ノート 家庭分野	620	—	—	
家庭	技術実習費	—	1,974	3,800	制作材料費
	家庭実習費	2,000	1,800	1,500	制作材料費・調理実習費
その他	毎日の生活記録	390	390	390	
	学力テスト	960	960	1,920	
	卒業記念写真	—	—	800	
	入学願書用写真	—	—	500	
	生徒会誌「潮望」製作費	1,000	1,000	1,000	用紙・印刷製本代
	生徒手帳代	850	30	30	2・3年は身分証明書のみ
	合 計	14,101	11,169	15,013	

平成26年度 美術科用教材一覧表
1年生

教材	値段	個数
アルファースケッチブック	399	7
ラビーゴム カードサイズ	302	7
和紙ぞめうちわづくり【竹セット】	320	7
Kクレイ LL	380	7
サンドペーパーセット	170	7
カラーMDF版 標準版	130	7
小計	1,701	

教材	値段	個数
ドライポイント樹脂版画セット	145	7
バターナイフ(チーク)	370	7
サンドペーパーセット	170	7
Kクレイ LL	380	7
小計	1,065	

教材	値段	個数
高嶺石セット	460	9
和紙で作る風船ランプ	310	9
エッグライト	200	9
BSS DVDジャケット	299	9
小計	1,269	

教材	値段	個数
寄木工芸(布袋入り)	980	2
小計	1,960	
一人当たり	280	

教材	値段	個数
BSS 二曲一双金屏風	510	5
小計	2,550	
一人当たり	284	

教材	値段	個数
学校教科予算で購入 印泥	190	3
学校教科予算で購入 斜方眼シート(10枚組)	580	1
小計	1,150	

平成27年度 美術科用教材一覧表
1年生

教材	値段	個数
アルファースケッチブック	432	4
ラビーゴム カードサイズ	302	4
和紙ぞめうちわづくり【竹セット】	330	4
サンドペーパーセット	64	4
カラーMDF版 標準版	140	4
小計	1,268	

教材	値段	個数
ドライポイント樹脂版画セット	145	7
バターナイフ(チーク)	370	7
サンドペーパーセット	64	7
Kクレイ L	280	7
小計	859	

教材	値段	個数
高嶺石セット	460	8
Kクレイ M	230	8
エッグライト	200	8
BSS DVDジャケット	299	8
小計	1,189	

教材	値段	個数
BSS 二曲一双金屏風	560	4
小計	2,240	
一人当たり	280	

教材	値段	個数
学校教科予算で購入 斜方眼シート(10枚組)	580	1
学校教科予算で購入 スチレンボード10枚組	2,160	1
学校教科予算で購入 粘土のし棒	110	1
学校教科予算で購入 ペーパーパレット	350	2
学校教科予算で購入 耐水ペーパー	783	11
学校教科予算で購入 紙コップ30個くらい	学校在庫	
学校教科予算で購入 木工用ボンド	学校在庫	
小計	4,333	

◇D小学校 転入してはじめてのこと～学級費・PTA会費等の見直し

【学級費の減額】 1,200円（転入前）→1,000円（26年度）→600円（27年度に半額）
 ～ 転入前の年に画用紙が公費化されたことにより、学級費の支出が大幅に減ったことと、
 残額が多くなり年度末に無理をして使い切っている学級が多かったことから、学級費
 の減額を提案した。

平成28年度 校内配分予算案

H28. 4. 28現在

市経理項目	校内配分項目	H27年度 補正予算	H27年度 決算	平成28年度 予算	備考	担当者			
需用費	一般	289,000	316,288	200,000	職員室置き事務用品、項目外の行事	事務			
				15,000	新年度準備	事務			
				20,000	図書関係消耗品	事務			
				8,900	予備費	事務			
	学級消耗品	1 松	149,837	142,916	6,000	学級用消耗品 年度始めの消耗品等もこちらから購入します。 例年のアンケートで記入したものはこちらの 予算から差し引いて購入します。 1人あたり8300円ついています。	担 任		
		1 竹							
		2 松							
		3 松							
		4 松							
		5 松							
		5 竹							
		6 松							
		学校菜園用 消耗品			20,000			菜園用土など	環境
		学版 関係 消耗品			20,000			版画インク・用紙	教務
	紙類消耗品	70,000	半紙・色上質紙・画用紙・模造紙・賞状関係	事務					
	特別支援学級用消耗品	1 梅	60,000	50,598	10,000	特別支援学級用の消耗品費です。 授業で使う消耗品や本などはこちらから支 出をお願いします。 1人あたり85,000円ついています。	担 任		
		2 桜							
		3 柏							
		4 桐							
		5 柏							
		6 楓							
		予備			15,000				
	教科授業	家庭科(調理 室)家庭科(消 耗品)	66,037	71,815	15,000	5・6年調理実習材料費	5・6 年担任 家庭科 担当		
		理科			5,000	食器用洗剤・スポンジなどの家庭科室用消 耗品	理科専 科		
		その他			20,000	理科室用消耗品	事務		
					30,000	備品に該当しない教材購入費	事務		
	印刷関係	用紙	237,507	269,029	265,000	コピー用紙(白、A4、A3、B5、B4のみ)	事務		
印刷消耗品		300,000	343,980	315,000	リソグラフインク、マスター	事務			
プリンタ消 耗品		545,000	503,701	518,700	インクジェットカートリッジ レーザープリンター等	事務			
コピー使用 料		165,000	170,794	165,000	職員室・事務室コピー使用料	事務			
研究		15,163	15,163	20,000	教師用教育研究書・付箋・研究紀要用ファイルなど	研究			
清掃	清掃用	40,000	42,967	50,000	児童用清掃用品	環境			
	トイレトペーパー	25,000	27,402	25,000	年間約88バック分	環境			
環境整備	用務員管轄	162,959	129,969	65,000	整備補修等材料費	用務員			
	照明類			50,000	電球など	用務員			
	給食関係			10,000	給食用タオル(年間1学級6枚) ゴミ袋(年間1学級2袋)	養護			
	洗剤類			35,000	養護教諭管轄のハンドソープ・洗剤等	用務員			
	ワックス関 連			20,000	ワックス・ワックスがけ用マイペット	用務員			
行事用消耗品	入学式	7,041	7,041	10,000	入学式用消耗品	教務・ 事務			
	運動会	40,000	40,442	40,000	タンカール、紙雷管、ポップヒットマーチな どの運動会用消耗品	運動会 担当			
	学芸会	52,639	52,639	55,000	学芸会用画用紙などの消耗品	学芸会 担当			
	D小まつり			10,000	D小まつり消耗品	児童会 担当			
	卒業式	20,000	21,079	30,000	卒業式用消耗品	教務・ 事務			
クラブ	児童会	10,000	9,210	10,000	児童会管轄行事	児童会			
	クラブ	5,817	5,817	10,000	クラブ用消耗品	各担当			
	新聞購読料	30,000	30,000	30,000		事務			
	医薬材料	53,000	52,306	55,000		養護			
	修繕	63,000	33,264	60,200		教頭・ 事務			
		2,337,000	2,336,420	2,424,000					
役務費	通信運搬	52,000	31,942	55,000	郵券、宅配便	事務			
	手数料	92,000	47,617	96,000	クリーニング、ピアノ調律など	事務			
購入費	標準教材	701,000	859,121	737,000		教務			
	特文情報教 理科教材購 入	133,000		197,000	特に特別支援学級・ICT関連教材	教務			
	学校図書	482,000	350,264	372,000	本年度なし 児童用図書 *必ず使いきってください。	図書			
	予算合計	6,134,000	5,961,784	6,305,000					

①児童用ファイルを
公費化(27年度)

②版画用紙・インクの
公費化(28年度)

③料理実習費の公費化
5年生(27年度)
6年生(28年度)

④理科授業で使用する
植物の種・苗代を公
費化(27年度)

※クラブ活動費の全額
公費化(27年度)
別途徴収→配分予算

◇ E小学校 郡民の呼びかけによる教職員への意識化をめざした取組

だよりを【学校事務研究会】フオルダへ入れ、これから事務だよりを作成する際の参考資料として提示した。

(3) 予算要望について
前述のとおり、保護者負担軽減・公費化の取組や、教育環境整備といった取組を進めるためには、その財源となる学校予算の確保が必要であり、そのための予算要望という取組もまた重要な取組の一つである。

管内の他市町村では、学校間連携により町内の学校共通の要望事項をまとめ、事務サークル名で予算要望書へ共通の要望事項を盛り、各校の予算要望書へ共通の要望事項を盛り込み、各校の予算要望書へ共通の要望事項を盛り込んでいる。

〇〇町では、学校事務研究会で要望をあげるといことは現状難しく、各校の予算要望へ共通事項を盛り込むことは可能と考えていたが、提出時期に迫られるなど結局実現することができなかつた。一斉研では〇〇小・〇〇中で提出した予算に関する要望書を持ち寄り情報交流を深め、次年度以降の足掛かりとすることができた。

VI. 研究のまとめ (成果と課題)

〇〇小・〇〇中の中の事務職員同士については日常から情報交流しやすい環境にあるが、△小・〇〇小中とはなかなか日常からの情報交流を深めるというわけにもいかず、学校事務情報の共有化を目指してまとめた情報(資料)の提供だけで終わってしまつた感がある。情報(資料)の提供についても、事務職員ではないために各種手続きで苦慮していることを考えると、各種手続きの際の校内教職員への配布文書などについても参考としてもらおうことができ、事務処理の適正化や効率化などに役立ててもらえるのではないかと考える。

保護者負担の軽減・公費化の取組は、経済格差が教育格差(子どもの教育権の制限・足枷)とならないよう、子どもたちに平等な学習機会を保障するためにも、教職員の理解や協力協働のもと学校全体で進めていかなくてはならないものである。

今年度は、教職員との情報の共有化(共通理解・意識化)を図る手段として事務だより、を上手く活用することができなかつたが、これを上手に活用して学校事務情報を共有化するにより、保護者負担軽減・公費化の取組はもとより予算要望の取組などについても相乗効果が得られるものと考えられる。

も済んでしまつたため、今年度は調味料やフアラブ実習費については公費(町費経理)で負担するという程度の取組となつた。

また、公費化するにあたっては、それを賄えるだけの財源の確保が必要であり、現状の学校予算では調理実習費全てを公費で賄うことは金銭的に難しいことも明らかになつた。

2. 今年度の取組

今年度から両高研の廃止に伴い、△△小・〇〇小中の教職員も各研究会に属することになり、どちらの学校も事務職員未配置校であるが、学校事務担当者ということで△△小の校長先生・〇〇小中の教頭先生が新たに学校事務研究会のメンバーとして加わつた。

情報交流では、やはり両名ともに旅費や諸手当等の事務手続きなどで苦慮している様子だったことから、まずは学校事務情報の提供や共有を図ることを目指した。

(1) 学校事務情報の共有

留萌地方小中学校事務職員協議会(以下「留事協」)では、管内事務職員の資質向上や事務手続き等の適正化・効率化を目的とした「学校事務の手引」「給与・旅費の手引」「服の手引」「会計事務の手引」「事務引継ぎの手引」を作成し、無料のオンラインシステム「レジ(インターネット上のファイル保管場所)」であるOneDriveを利用して情報の共有化を図つていく。

このサービスは登録制のため、会員しか利用できないが、留事協で作成した各種手引はともども役立つツールであるため、〇〇町の学校間共有フオルダ【all→〇教研】の中に【学校事務研究会】フオルダを作り、各種手引のファイルを入れ、事務職員未配置校でも閲覧することができるようにした。

(2) 周知方法の工夫

教職員との情報の共有化を図るためには、職員会議等での提案の他に教職員向け事務だよりが有効な手段である。

各種実践の取組過程などにおいても文書として記録化(情報の可視化)をすることが、共通理解・意識向上のためには重要であると言われている。

前述の留事協のOneDriveには、各種手引の他にも事務職員各人の作成した事務だよりや、各市町村での学校間連携により作成された事務だよりも多数掲載されているが、取り敢えずは町内事務職員が過去に作成した事務

「学校事務情報の共有化を目指して」

学校事務研究会

習を深め、取組事例を参考に、〇〇町でも取組を進めるものがないか模索してきた。

(1) P T A旅費規定の策定
情報交流の中で、〇〇小・〇〇中どちらのP T A会則にも旅費規定がなく、各々支給額も異なつていくことが分かつた。

△△町の学校間連携の取組の中、「旅費が隣の学校より少なかつた」と保護者から言われた学校があつたことをきっかけに、町内統一したP T A旅費規定を策定したとの事例があり、〇〇小・〇〇中でも揃えたほうが良いと判断し、取り組むことにした。

各々の学校で学校長や教頭へ打診し、理解が得られたため、P T A役員会や評議員会で提案、総会で承認され、今年度から施行することとなつた。

(2) 保護者負担軽減の取組

近年、「子どもの貧困」が全国的に大きな問題となつていく。就学援助受給世帯数は増加の一途をたどり、〇〇町においても児童生徒の約5人に1人が準要保護に認定されているなど、学校現場ではより現実的かつ身近な問題として感じることができた。

その一方で、多くの自治体では財政難や児童生徒数の減少などを理由に、学校予算が削減され続け、本来公費で賄われるべきと思われるものについても補助教材費等として保護者に負担してもらつていくという実態がある。

学校財政財政活動を担う事務職員にとつても、保護者負担の軽減・公費化といった取組は喫緊の課題であり、また各学校独自の課題ではなく共通の課題と捉え、学校間連携により市町村単位で数多くの取組が進められている。

〇〇町でも何か取組めるものがないか模索していたところ、家庭科の調理実習や料理クラブなどで使う食材についても調味料等と同様に町費経理で支出できることが分かつた。食材等については受益負担となるのではないかとという考えもあるが、少しでも保護者の負担軽減になればと思い、取り組んでみることにした。

ただ、定期的に遅かつたこともあり、調理実習費を含んだ補助教材費の保護者への周知

委員名	〇	○	○	○	○	○	○	○	○
委員長	○	○	○	○	○	○	○	○	○
副委員長	○	○	○	○	○	○	○	○	○
委員	○	○	○	○	○	○	○	○	○

II. 研究主題

「学校事務情報の共有化を目指して」

III. 研究内容

昨今頻繁に改正される学校教育・教職員関係の諸法規等の内容や、旅費・諸手当・服務等に関する情報、町費経理事務や人事事務等の町内での事務処理に関わる情報など、学校事務に携わるうえで必要な学校事務情報について、日常からの情報交流を深めることにより共有化をすすめ、事務処理の適正化や効率化、予算の有効活用などに役立てていく。また、教職員との共有化に向け、周知方法の工夫などについても考えていく。

IV. 研究計画

研究月	研究主題・計画決定
4月	研究主題・計画決定
5月～11月	実務研修等による情報交流 および共有化を進めるための 方策についての考察
12月	研究のまとめ
2月	研究の反省

V. 研究の実践の内容

1. 昨年度からの取組
昨年度、学校事務研究会では「学校間連携を見据えた事務職員間連携」と題し、〇〇小・〇〇中ともに赴任1年目ということから、まずは各自校の様子を知り、各校での課題等を探ることから始め、事務職員間の交流により各校の様子・課題等の共有、改善の手立てを考えてきた。

また、全道および留管内の他市町村での取組組みが広がってきている事務職員が主体となつて進める「学校間連携」についての学

平成26年度 後期 校務分掌の反省と今後の展望 [事務] 部

前期の活動・実践状況 及び 成果・反省事項・課題 等

1. 町費総理
 - (1) ・配分予算の校内予算編成にあたり、要望の取りまとめを行うことができなかった。
食材の予算支出が可能との確認を得ていたが、調理実習費の集金に間に合わず、保護者負担軽減を図れなかった。
 - ・運動会、卒業会の予算案を提示したが、運動会の決算報告ができなかった。
 - ・夏休み前、残予算の執行状況報告をする予定だったができなかった。
 - ・現在の状況は別紙のとおり。見込みが甘く、事務用品の予算が早くも赤字となってしまった。
 - (5) ・校用備品については、今年度は「トランシーバーへセット2個」と「キャスト付長机4脚」が納品された。長机はオプションの幕板を付けたので、今後は卒業式で白布を使わなくてもよいのではないかと考える。
 - (7) ・今年度から職員会議がペーパーレス化となったが、印刷経費の削減にはあまり効果が感じられていない。
2. 道費総理
 - (2) ・旅費請求事務を後回しにしてしまうことが多かった。
 3. 就学援助
 - (1) ・追加申請などは順次迅速に対処することができた。(現在：要保1名、準保58名、特支7名、通級3名)
 4. 庶務
 - (1) ・メールで届いた公文書については、事務用PC内にバックアップを取り、さらに共有フォルダの「OO小学校」→「★メールアドレス★」→「★バックアップ用フォルダ★」の中にも日付毎に保存し、誰でもメールで届いたデータファイルなどを活用できるようにした。
 5. 服務・人事
 - (1) ・出勤簿の毎日押印については、まだまだ定着していないが、以前よりも習慣化されてきていると思う。
 - (2) ・休職処理簿等の様式変更があったが、適正に対処することができた。
 - ・外勤簿の整理についても、付箋でチェックし、記入を促すことができた。
 - ・昨年度の最終手エックを後回しにしてしまい、まだ終わっていない。

後期の予定・改善の方策

1. 町費総理
 - (1) ・クラブ活動費などで公費化できるものは公費化していき、保護者負担軽減に取り組みたい。
 - ・冬休み前や休み明け、決算前など、こまめに執行状況報告を行いたい。
 - ・残予算の執行を促していきたい。
 - (7) ・カラレーザのトナーを容量の多いものにしたが、今年度はこれで終わり(予備なし)なので、今後ともカラー印刷については必要最小限でお願いしたい。
2. 道費総理
 - (2) ・研修旅費について、研究部と連携しながら、請求が遅くならないよう随時処理していきたい。
 3. 就学援助
 - (1) ・今後も保護者への連絡など、先生方のご協力をお願いします！
 4. 庶務
 - (1) ・メールアドレスを利用する際は、共有フォルダ内の別なフォルダ(分掌フォルダなど)へドラッグ&ドロップしてしまつと、移動になつてしまつ(メールアドレスが無くならない)ので、コピーして利用するようにお願いします。
 5. について
 - (1) ・まとめ押しは押し間違いにもつながらるので、早期定着化を目指していきたい。
 - (2) ・昨年度の最終手エックをできるだけ早めに終わらせたい。追記等の必要がでた場合は、ご協力をよろしくお願いします！

後期の活動・実践状況 及び 成果・反省事項・課題 等

1. 町費総理
 - (1) ・定期的な執行状況報告で、厳しい現状の周知と節約のお願いをし、何とか無事に執行を終えることができたが、後半は結構先生方に我慢してもらつたのではないかと、(決算報告については別紙のとおり)
 - ・クラブ活動費では一部公費化したことで、少しではあるが保護者負担を軽減することできたのではないかと、(突発的な執行を極力避ける)
 - ・さらなる保護者負担軽減(公費化)に向けた取組(補助教材費として保護者から集めているもので公費化できるものについての洗い出し)
 - ・印刷機器の使用(目安など)についての年度当初からの周知
2. 道費総理
 - ・校内の提出期日を早めに設定する
 - ・わかりやすい説明および資料提示の工夫
 - ・旅費請求書の早期(随時)作成
3. 就学援助
 - ・より初歩的な事務処理に向けた、保護者や町教委および中学校との連携
4. 庶務
 - ・メールバックアップの活用状況の把握および保存期間の設定
 - ・文書の適正管理に向けたファイルインクスの工夫、廃棄の推進
5. 服務・人事
 - ・出勤簿の毎日押印、諸表簿への事前記入の定着に向けた定期的な点検および呼びかけ

平成27年度における改善の見直し

1. 町費総理
 - ・見通しをもった校内予算編成と計画的な予算執行
 - ・さらなる保護者負担軽減(公費化)に向けた取組(補助教材費として保護者から集めているもので公費化できるものについての洗い出し)
 - ・印刷機器の使用(目安など)についての年度当初からの周知
2. 道費総理
 - ・校内の提出期日を早めに設定する
 - ・わかりやすい説明および資料提示の工夫
 - ・旅費請求書の早期(随時)作成
3. 就学援助
 - ・より初歩的な事務処理に向けた、保護者や町教委および中学校との連携
4. 庶務
 - ・メールバックアップの活用状況の把握および保存期間の設定
 - ・文書の適正管理に向けたファイルインクスの工夫、廃棄の推進
5. 服務・人事
 - ・出勤簿の毎日押印、諸表簿への事前記入の定着に向けた定期的な点検および呼びかけ

平成27年度 事務部運営計画

担当 ○○ ○・△△△△

I. 運営の方針

1. 学校事務も教育活動の一環であるという押さえのもと、学校財政財務活動や教育情報活動に取り組み、子どもの生活の場としての学校づくり（教育環境整備）を、学校全体のかかわりの中で全職員の協力・協働によりすすめる。
2. 教育活動や学校運営が円滑に行われるよう、各分掌や学年・教職員との連携を密にし、事務処理業務の適正化および効率化を図る。

II. 運営の重点

1. 配分予算については、執行状況の把握に努め、全職員の協力を得ながら計画的・効果的な執行および要求活動に努める。 【学校財政財務活動】
2. 文書・諸帳簿等については、適正な整理・保管に努め、適正処理の定着化を図る。
(1) 学校内外から得た様々な情報の把握（収集）に努め、共有化（提供）・活用を図る。
(2) 情報公開・個人情報保護のため校内における文書の保管・廃棄等を適正に行う。 【教育情報活動】
3. 教育環境整備の課題解決に向け意欲的に取り組むとともに、教職員・各学校・関係機関等との関わりを深め、共有理解・連携を図る。 【学校間連携】

III. 具体的内容

1. 町費経理に関すること

- (1) 配分予算の校内予算編成・執行・要望等に関すること
 - ① 校内予算編成を各分掌・学年担当者からの要望を受け行う。効率的執行に努め、執行状況を明示し、各担当者への意識付けを行う。また必要があれば予算の再編成を行う。
 - ② 保護者負担軽減（公費化）を意識しながら、教材費など学校徴収金の洗い出しを行い、教育委員会に対しても、必要に応じて要請していく。
 - ③ 新年度の教育予算要求に備え、日常から教育施設整備の現状を把握し要望を行う。

学校配分予算執行の流れ

- 学校予算配分（4月）
 - ・町経理担当者会議（4月中）
 - 執行計画
 - ・校内配分案提示・決定（5月初旬）
 - 執行状況報告（学期毎および必要に応じて）
 - 予算要望活動（9月）
 - ・予算要望書配布→集約→職員会議で検討→予算要望書提出（10月中旬）
 - 決算報告書作成→検討・分析→次年度に向けての資料とする（3月）
- (2) 郵券に関すること 【担当：△△】
 - ① 公文書・児童の作品応募等を郵送するときは、宛先用件名を明らかにする。
 - (3) 電話使用に関すること 【担当：△△】
 - ① 私用電話については、極力各自の携帯電話を使用し、遠距離・電報等で学校の電話を使用する場合は市外電話使用簿に記載し、料金を確認しその都度支払う。
 - (4) 校舎の営繕に関すること
 - ① 破損箇所は発見次第教頭まで連絡し、大きな営繕の必要がある場合は、その都度教育委員会へ要請する。小破損の営繕については予算の範囲内であれば公務補へ依頼する。
 - (5) 校用備品の取得・管理保管・台帳との照合・廃棄に関すること
 - ① 取得後、台帳を保管し、校用備品にラベルを添付する。定期的に点検・台帳との照合を行い、

平成27年度 町費経理 校内配分予算(案)

	H26予算	執行済額	H27予算	備考	関連分掌(係)
学校管理費	1,268,000	1,235,747	1,237,000		
消耗品費	1,029,000	1,028,823	1,050,000	明らかに予算不足な感じですので、これまで同様…いや、それ以上の節約のご協力をお願いします。	
事務用品	90,050	139,650	92,250		事務
印刷消耗品費	430,000	471,639	435,000	※昨年度、総合と義教消から+120,000円支出	〃
掃除用具	50,000	36,305	45,000	洗剤・ゴミ袋・石けん 等	事務・環境美化
教科外消耗品費	36,000	19,910	37,000		
教務・総務	18,000	16,759	20,000	通知票ファイル・製本ファイル 等	教務
研究	3,000	0	5,000	製本ファイル 等	研究
保体	3,000	0	2,000		保健体育
生徒指導	3,000	0	2,000		生徒指導
文化	3,000	3,151	4,000	図書関係含む	文化(並に図書)
児童活動	3,000	0	2,000		児童活動
視聴覚	3,000	0	2,000		視聴覚
追録	10,000	9,876	10,000	学校運営質疑応答集・学校教務質疑応答集	事務
維持管理費	120,000	114,223	120,000	草刈機関係・除雪機関係・除草剤・ペンキ 等	事務・公務補
教師用雑誌	80,000	93,878	95,000	教育技術・子どもと創る国語の授業・授業力&学級統率力・実践障害児教育	研究
行事用消耗品費	136,000	105,392	138,500		
入学式	26,000	25,500	25,500	盛り花・記事 ※うち1年生に1000円	
運動会	55,000	42,355	55,000	フィールドライン 等	
学芸会	35,000	18,714	38,000	色工作用紙・布両面テープ 等	
卒業式	20,000	18,823	20,000	盛り花・記事・CD 等	
学級用消耗品費	76,950	37,950	77,250	※児童数×150円(特支除く)	
1年	6,600	6,120	7,800		
2年	7,200	4,960	7,200		
3年	7,500	7,950	7,050		
4年	7,350	7,350	7,650		
5年	9,900	3,996	7,500		
6年	8,400	7,574	10,050		
特支	30,000	0	30,000		
修繕料	50,000	49,202	50,000	芝刈機・草刈機・除雪機 等	公務補
手数料	134,000	114,522	137,000		
洗濯代	94,000	77,802	97,000	白布・学芸会衣装・保健室寝具 等	保健・事務
ピアノ調律料 他	40,000	36,720	40,000	ピアノ調律2台 等	事務
学校保健衛生費	100,000	99,578	97,000		
医薬材料費	100,000	99,578	97,000	医薬品・保健室用事務用品 等	保健
教育振興費	451,000	442,762	456,000		
図書購入費	235,000	222,632	240,000		
児童用図書	140,000	138,888	140,000	※昨年度78冊	図書
教師用(研究図書)	95,000	83,744	100,000	※昨年度47冊	研究
総合的な学習	216,000	220,130	216,000		
報償費(謝金)	33,000	37,500	36,000	陶芸教室・スキー講師	
消耗品費	183,000	182,630	180,000	E小まつり・お米パーティー・陶芸・カープリクーター 等	
義務教材・理科設備費	350,000	349,441	382,200		
消耗品費	350,000	349,441	382,200		
教務とりまとめ分	200,000	161,212	220,000	理科実験用消耗品・教科用消耗品 等	
その他	150,000	188,229	162,200		
教科用消耗品費	80,000	42,968	60,000	教務とりまとめ以外・調理実習調味料 等	事務
クラブ	50,000	55,009	50,000	釣りクラブ館・調理クラブ食材 等 ※各クラブ2,500円程度	教務・事務
その他	20,000	90,252	52,200	運動会(CD紙雷管)学芸会(カクテル楽譜)写生会(画用紙)等	事務

印刷製本費がカットされ、学校経営計画と研究紀要の製本を業者へ出せなくなったので…。

教師用雑誌4種類の購入代が年々高額になっています。増刊号とか予定外の出費もあり…。活用度合いはどうですか？研究部で検討してみただければと思います。

学級設営で使い切っていない予算は、年間を通して学級用の消耗品の購入に充てて活用してください。(残っていてもわずかだとは思いますが…) ※特支学級は昨年度のように我慢してもらえないようにしたいと思います。年度末まで残しておかず計画的に執行していただければと思います。

調理実習代とまではいきませんが、調味料くらいは公費で賄いたいと思いますので、ご活用ください。

※たいへん遅くなりましたが、今年度の町費経理校内配分予算案を作成しました。作成しながらため息が出る状況なのですが、何点か改善を試みてみました。行事予算等では学年配分が不十分でご不便をお掛けしていますが御了承ください。

写生会用に画用紙を各学年へ児童数分ですが配布したいと思います。

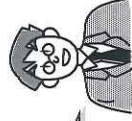
※これまた非常に遅くなり申し訳ありませんが、運動会予算を裏面に載せましたのでご覧いただきご活用ください。

事務だより

第2号
2015. 6.10
発行:〇〇



運動会お疲れ様でした！先日、口頭でお願いした『請求書の日付記入』についてと、『町費経理校内配分予算案』について、あらためて補足説明したいと思います。



1

『請求書の日付記入』について

先日、口頭で連絡しましたとおり、これまで請求書には日付を入れないでもらっていましたが、町役場からの指示により、**今後請求書で購入する場合は、請求書に日付を記入してもらいたいことになりました。**

旭屋さんには直接事情を説明する機会があったので、何も言わなくても日付を記入してくれたいと思いますが、ダイソーなど他のお店については、今までの習慣で日付を入れないで請求書を書いてしまおうと思われま

す。…ということで、これから「〇〇小学校宛ての請求書で、日付を入れてお願います！」とお店の方へお伝えいただければと思いますのでよろしくお願

いませ。併せて、請求書を受け取ったら、①日付が記入されているか ②請求印が押さ

れているか ③納品書だけじゃないかなど確認をお願いいたします。また、日付が入ること、ある程度まとめて処理することなどができなくなりましたので、もらった請求書はその都度忘れず事務まで届けてくださるようお願いいたします。(日にちが経ってしまっている請求書を書き直してもらわなければならぬようになりますので、くれぐれもよろしくお願



2

『町費経理校内配分予算案』の補足説明について

先日、配分予算案を提示しましたが、きちんと説明する機会がなかったため、あらためて補足いたします。予算案にも記載していますが、今年度の試みとして、

①写生会用に各学年に児童数分、画用紙を配分します！



* 廊下の画用紙類が入っているロッカーの上段に用意してありますので、それぞれ児童数分持っていくてください。

既に準備し取り組まれていた学年があまりありません。今後の学級活動や授業に役立てていただければと思います。

②総合的な学習の予算で、各学年に5,000円ずつ予算配分します！

* 総合的な学習の時間に使う(ような)消耗品の購入に役立てていただければと思います。たいていは発着資材作成用ということで伝票処理したいと考えていますが、ものによっては使途を確認させてもらおう場合もあると思いますので、ご協力をお願いいたします。

購入にあたっては、年度当初の学級設営用の予算同様、羽幌小学校宛の請求書(今後は日付入り)で購入し、口頭かメモで学年を教えてください。

③調理実習の調味料などは公費(町費予算)で賄います！

* これについては、保護者負担軽減の一つとして、調理クラブの食料同様、昨年度から計画してまいりましたが、結局昨年度は調理実習での調味料の公費(町費予算)での購入はありませんでした。調理実習費を既に集めているため、直接保護者負担軽減にはつながりませ

が、その分を食材に回したりすることができると思っていますので、今後調理実習の食材を購入する際には活用していただければと思います。
(調味料だけ請求書で購入してもらおうという手間が生じますが…)

④各クラブにも2,500円程度の予算を確保しています！



* クラブによっては、児童から材料費を集めているクラブもあることから、少しでも保護者負担軽減につながるかは…ということで、昨年度から調理クラブの食材や、手芸クラブの材料等を公費(町費経理)で購入しています。ものによっては公費負担が適当かどうか検討する必要もあるかと思

いますが、今年度も昨年度同様にと考えています。予算についてはクラブによってまちまちなので、2,500円程度としていますが、義務教材消耗品費からの執行となり割と余裕がありますので、必要に応じて対応していきたいと思

お知ろせと、お願

3

ホームページで町費経理による購入について

ホームページで町費経理(請求書)で購入するためには、メンバーズカード会員に入会し、メンバーズカードを発行してもらい、そのカードを持参して購入することになります。

役員や中学校では以前(旧ツルヤのとき)から会員登録をしていて購入できていたようですが、何故か小学校に登録していませんでした。

…ということで、遅ればせながら5月中旬に申込をし、現在OK待ち(メンバーズカード到着待ち)の状態です。

運動会の物品購入には間に合いませんでしたが、何事もなければもう間もなくと思われま

す。無事OKが出てカードが届きます。年度末決算(伝票処理・支払業務)の関係で現在わかっている留置点としては、年度末決算(伝票処理・支払業務)の関係上、3月中旬以降は請求書の購入はできないということです。

4

通販カタログ「エデュース」と「ウチダス」の活用！

決して営業妨害をするつもりはありませんが、日にち的に余裕のあるときは、できるだけ「エデュース」または「ウチダス」の利用を強くオススメいたします！

なせなら…安いから！ものによっては100均より安い場合もあります。特に、同じ商品をたくさん購入する場合は、ちよつとの単価の差が大き

金額差になることが多々ありますので、町費経理に限らず、学級費での購入なども活用をオススメいたします！

ちなみに「エデュース」は旭屋書店の取扱いで、「ウチダス」は盛文堂の取扱いで

となっていて、それぞれのお店から請求書が届きます。

注文して2〜3日後には届きます。(大きな声で言えないのかもしれませんが)旭屋さんの場合、お店にある同等品をエデュースで注文した商品の価格ですぐに届けてくれること

5

家庭訪問旅費について



すっかり遅くなってしまいました。要求していた生徒指導旅費の増額配分が

ありましたが、近日中に家庭訪問の旅費請求書を作成したいと思

います。今回は旅費予算が増額されたことから、スクールバス児童宅への家庭訪問について

はすべて請求できることになりました。これから復命書や旅費請求書への押印等をお願いすることになりますので、よろしくお願

□ 研究委員会各校の取組について《成果と課題》

＝A小学校の取組＝

◇ 教材費等の公費・私費取扱い基準の制定及び運用【本文3頁、別冊資料1～4頁】

- 【役割（姿勢）】・・・◎（3）話し合いの場を設定（1）調査分析
- 【役割（姿勢）】・・・○（2）学習伝達（5）保護者全体の立場
- 【実践（手法）】・・・◎（5）話し合い・意識向上
- （4）基盤強化（1）備え付け（2）消耗品公費化
- （3）地域の事務職員として公費化

<成果と課題>

- 全職員で学校のお金（公費・私費）について、話し合う場をもてたこと
- 書道半紙、調理実習、探検バッグ、算数セット等の公費化が論議されたこと
- 保護者負担公費化について、学校事務職員が主体的に提案できたこと
- 真摯に向き合うことで、公費化に対する協力者を得たこと
- 教員の指導方法や教材について、思いや本音が聞けたこと
- 諸会議で話し合ったことを取扱い基準に明記できたこと（→引継ぎ）
- 教材費の取扱い基準を示したことで、先生方の教材準備（①学校予算②徴収金③備え付け、市町村の違いで困惑）が明確になったこと（職員の執務環境の改善）
- 道立学校のガイドラインが財源不足のためのやむを得ない区分であることを知ってもらったこと（ただし、受益者負担論は財政面から払拭できなかった）
- 委員会の担当者や財政状況により判断が変わった場合、対応できないこと
- ある程度までは公費化できるが、限界に達した場合にどう話し合いをもつか

◇ 図工担当教諭と連携した補助教材・材料費の保護者負担公費化【本文3頁、別冊資料18～19頁】

- 【役割（姿勢）】・・・◎（3）話し合いの場を設定
- （6）担当教諭との連携、学校規模、できることから
- （1）調査分析
- 【実践（手法）】・・・◎（5）話し合い・意識向上
- （2）補助教材タブレット代用など

<成果と課題>

- 担当教諭と予算の編成や保護者負担公費化について、確認できたこと
- セット教材の用途や中身について、図工担当教諭と十分に話し合ったこと
- 特定の補助教材費のタブレット転用（5年生）について、該当学年だけでなく職員全体に周知したこと
- 図工担当教諭や事務職員の負担が大きく、大規模校では難しいこと
- 先生や子どもの実態（教育効果）により、扱う教材が様々であること

◇ 教科単元別カードによる教育環境整備・保護者負担公費化【別冊資料20頁、本文なし】

当初は教務作成の教材一覧ファイル（保管場所・写真付）の補足資料としてファイルに差し込んだり（職員の執務環境改善）、また、効果的な予算編成に向けて作成、活用してきました（保護者負担軽減の一策）。しかし、膨大な作業と時間を要する他、先生方や子どもの実態、学習指導要領の改訂により、指導方法や教材が変わってくることから、現在は、補助教材について先生方とコミュニケーションをとった上でカードを作成し、保護者負担公費化を職員に提案する手段として使用・作成しています。

27年度には、理科で使用するマンガン電池が、「教材費等の公費・私費取扱い基準」において、公費として規定していたにもかかわらず、前年度、保護者より補助教材費として徴収していたことから、マンガン電池を使用する学担の先生と協力して、職員会議にて公費化の徹底を呼びかけました。

「取扱い基準」とともに保護者負担公費化と職員の執務環境の改善の両面をもつ教科
単元別カードですが、今後も事例に応じて活用していきたいと考えています。

- 【役割（姿勢）】・・・◎（３）話し合いの場を設定
○（１）調査分析
【実践（手法）】・・・◎（５）話し合い・意識向上
○（２）消耗品を公費化

<成果と課題>

- 自校の教育課程について学習し、先生方と話し合いをもてたこと
- 保護者負担公費化の呼びかけの手段として単元別カードを活用できたこと
- 単元別カード作成は、効果的な予算編成からは有効で、保護者負担公費化に
もつながらるが、膨大な労力と時間を要すること

◇ 事務だより・学級通信等を手段とした子ども・保護者への伝達【本文３～４頁、
別冊資料２１～２２頁】

子どもアンケートなどに活用してきた「子どもじむだより」も今年で５年目を迎えました。
最近では多忙で子どもアンケートのみの発行となっていますが、過去に家庭科クラ
ブの公費化について、子ども・保護者に伝えたことがあります。

他に２７年度より担任と連携し、学級通信に「算数セット」払い下げのお願いをしま
した。

- 【役割（姿勢）】・・・◎（４）子ども・保護者に情報伝達
○（５）保護者全体の立場（６）担任との連携
【実践（手法）】・・・○（２）消耗品公費化（１）備え付け について伝達

<成果と課題>

- 子どもアンケートの意見により、料理クラブの材料費がかからなくなったこ
とについて、子どもたち（保護者）に伝えたこと
- 公費化についての保護者事務だよりは発行できなかったが、学級通信等を通
じて取組を伝えることができたこと（保護者からも賛成の声があがっている）
- 算数セット払い下げについて、その後保護者の方と対話できたこと

＝B中学校の取組＝

◇ 補助教材費が高額なことから、職員と話し合いをもち公費化【本文４頁、別冊資
料２３頁】

- 【役割（姿勢）】・・・◎（３）話し合いの場を設定
○（１）調査分析（５）保護者全体の立場
（６）できることから
【実践（手法）】・・・◎（５）話し合い・意識向上
○（４）基盤強化（２）消耗品公費化

<成果と課題>

- 職員の保護者負担への意識を向上させることができたこと
- 技術家庭科等消耗品の公費化を進めることができたこと
- 教材費の見直しを前年度踏襲ではない形で図ることができたこと
- 公費化への理解が得られない部分があったこと（フラットファイル、調理実習
費など）→２８年度に新しい教職員・事務職員のもと、両者の公費化が実現した（事
務職員から事務職員へ引き継ぎあり）
- 必要な項目が抜けるなどして追加で納入をお願いせざるを得なくなったこと
チェック体制の強化・担当の明確化が必要であること

＝C中学校の取組＝

- ◇ 職員室から見てくる学校事務 ～ 就学援助率が高い学校の補助教材減額【本文4頁、別冊資料24～25頁】

- 【役割（姿勢）】・・・◎（5）保護者全体の立場
○（1）調査分析
（3）話し合いの場を設定
（6）できることから
- 【実践（手法）】・・・◎（2）消耗品を公費化
○（5）話し合い・意識向上

<成果と課題>

- 少額でも保護者負担軽減をしていくことを、事務職員が主体的に提案したこと
- 教員が保護者からの集金に頼らず、公費で購入することを考える機会になったこと
- 教材費の見直しを前年度踏襲ではない形で図ることができたこと
- 校内に存在する会計全体の見直しにはいたっていないこと
- 生徒数減により学校配分予算が減額された場合、公費化を持続することが難しいこと

- ◇ 閉校に向けて校内諸会計規約を見直し【本文4頁、別冊資料なし】

- 【役割（姿勢）】・・・◎（5）保護者全体の立場
○（1）調査分析 （3）話し合いの場を設定
- 【実践（手法）】・・・○（5）話し合い・意識向上

<成果と課題>

- 生徒数の減少をきっかけとして、今後の行事や部活動などのあり方や予算等、教職員と意見交換できたこと
- 統廃合を見据えて後援会規約の見直しについて考えを管理職に提示できたこと
- 後援会規約の見直しについて考えを管理職に提示しただけに留まり、全体の場で協議し改正することができなかったこと
→28年度PTA総会にて後援会費を集金しないことが協議・決定したことを、前任校の管理職を通じて確認した

＝D小学校の取組＝

- ◇ 異動して始めたこと～学級費等の見直し【本文4～5頁、別冊資料26頁】

- 【役割（姿勢）】・・・◎（1）調査分析 （5）保護者全体の立場
○（3）話し合いの場を設定
（6）できることから
- 【実践（手法）】・・・◎（5）話し合い・意識向上 （2）消耗品公費化
○（4）基盤強化 （1）備え付け

<成果と課題>

- 学級費についての執行内容を教頭・教務・事務で精査出来たこと
- 学級費とはどういうお金なのかを教職員全体で考えることができたこと
- 画用紙などの消耗品の公費化について職員と考えることができたこと
- 学級費（保護者負担）を半額まで減額することが出来たこと
- 公費で支出すべきものを学級費で支出していること（ノート、書き方ペン等）
- 学級費を減額したことによる教職員の負担が少し増えてしまったこと（学級費に比べて購入手続きが増えたこと、すぐに購入できないこと）

＝E小学校の取組＝

◇ 都度の呼びかけにより教職員への意識化をめざした取組【本文5頁、別冊資料27～31頁】

【役割（姿勢）】・・・◎（6）できることから取り組む、教務との連携

- （1）私費負担の現状を知る
- （3）機会を見つけ主体的に提案
- （5）保護者（特に低所得層）を意識

【実践（手法）】・・・◎（5）話し合い・意識向上

- （4）印刷経費等の節約や予算編成による財源確保
- （2）消耗品公費化

<成果と課題>

- 料理クラブなど材料費を集めていたクラブを全額公費化できたこと
- 教務係と連携した保護者負担調査等により自校の実態を把握できたこと
- これまで以上に具体的な予算増額要望をあげることができたこと
- 一律で集めていた学級費を学年差はあるものの全学年で減額できたこと
- 用紙代という総称で集めることをやめ、具体的にすることができたこと
- 教員から清書用の半紙は公費で！という意見が出て公費化したこと
- 調理実習費を全額公費化するには財源不足が明らかになったこと
- まだまだ公費で賄うべきものについても保護者負担してもらっていること
- 財源確保のための配分予算の見直しについてあまり進んでいないこと
（印刷経費の節減や学級費減額分の予算措置のPR、予算要望の工夫など）
- 補助教材の精選ではない削減や、教員の自己負担にならないような手立て